

前 金	部 分 払
有	- 回

令和 5 年 度
下 工 公 補 第 1 号

町屋第2雨水幹線築造工事設計書

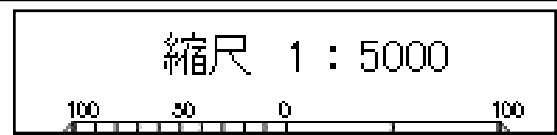
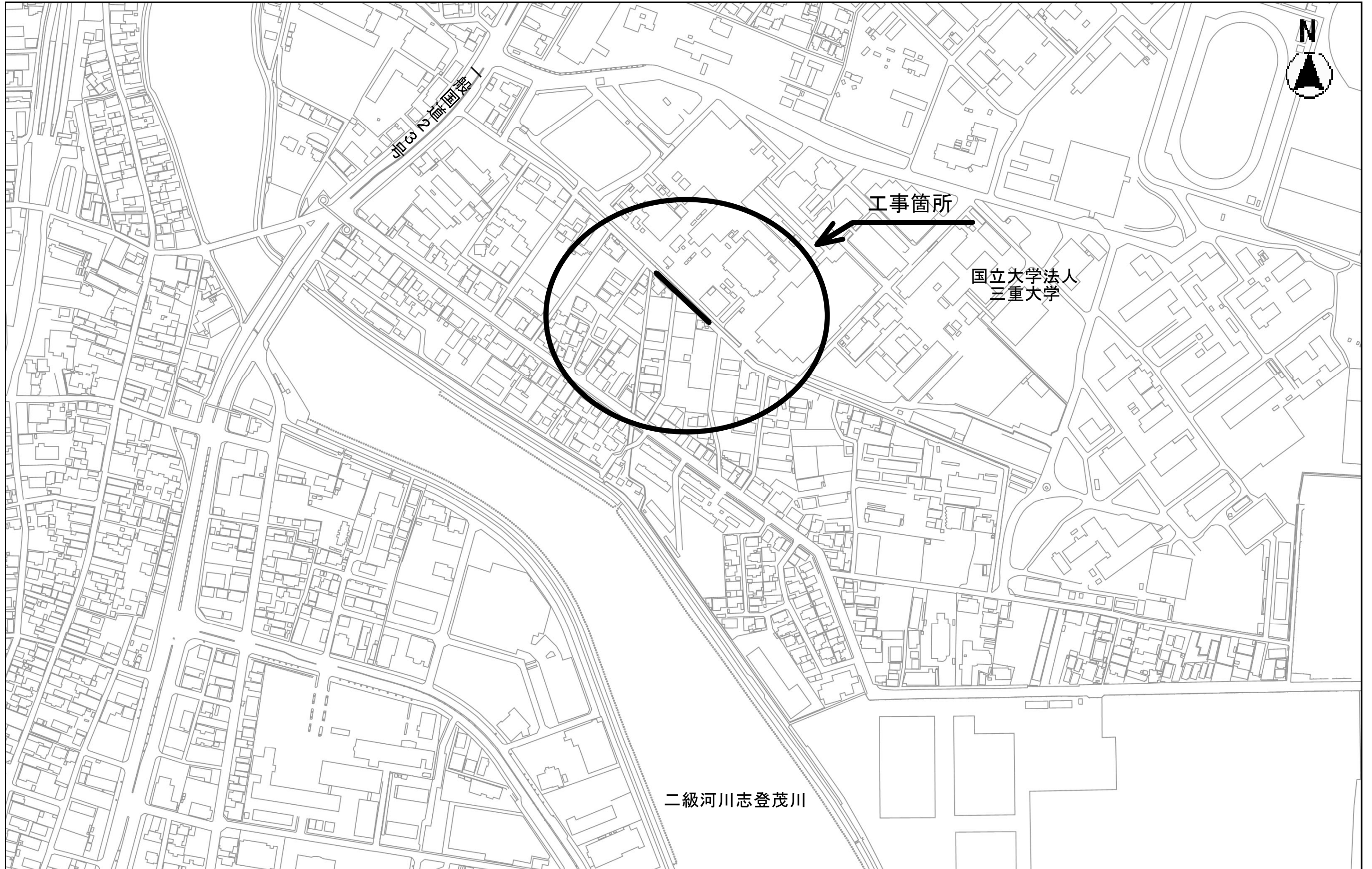
工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書
及び工事監督員の指示による。

津 市
上下水道事業局下水道工務課

令和5年度	下工公補	第1号	工 事 設 計 書		
施工場所	津市江戸橋二丁目地内			局 長	
				局 次 長	
工 事 名	町屋第2雨水幹線築造工事			参事(兼)課長	
				検 算 者	
設 計 額	(うち消費税等相当額)			調整担当主幹	
				担当副主幹	
工 期	令和 6年 2月29日限り			設 計 者	
長	---	巾	---		
工 事 の 大 要					
函渠工 (2000×1800mm)		84	m		
L型水路 (3000×1300mm)		4	m		
L型水路 (3000×1200mm)		4	m		
現場打集水柵		1	箇所		

位置図

令和5年度下工公補第1号
町屋第2雨水幹線築造工事



工事数量総括表

		工事名 令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】			当初		事業区分 下水道	
							工事区分 函渠	
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
函渠				式		1		
掘進工(オープンシルト工法)				式		1		
函渠工(2000×1800mm)				式		1		
掘進		裏込注入タイプ(NoS I型)		式		1		
裏込注入資機材費		裏込注入タイプ(NoS I型)		式		1		
機械器具損料		裏込注入タイプ(NoS I型)		式		1		
既設水路取壊し		ウォールソーイング、削孔		式		1		
掘進作業用道路(1)		t=22mm		式		1		

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
町屋第2雨水幹線築造工事【補助】						
仮設備工		式		1		
油圧機器設置撤去	裏込注入タイプ (NoS I 型)	箇所		1		
オープンシールド機解体撤去		箇所		1		
目地・モルタル工		式		1		
目地	裏込注入タイプ (NoS I 型)、耐震目地(特殊仕様 変位量30mm)	箇所		55		
モルタル	無収縮モルタル	箇所		55		
函体費		式		1		
プレキャストボックス材料(1)	プレキャストボックス2000×1800	式		1		

工事数量総括表

		工事名 令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】			当初		事業区分 下水道	
							工事区分 函渠	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
プラスチックボックス材料(2)			式		1			
裏込注入廃材処理工			式		1			
裏込注入廃材処理施設		Nos I型	式		1			
立坑工(到達立坑)			式		1			
管路掘削			式		1			
立坑掘削			m3		70			
立坑埋戻し(1)			m3		80			
立坑埋戻し(2)			m3		10			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】			当初	事業区分	下水道
						工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
発生土処理(1)		m3		60			
土留工		式		1			
軽量鋼矢板土留(1)	掘削深 3.5m<H≤3.8m	式		1			
取付管およびます工		式		1			
取付管布設工		式		1			
取付(1)-1	VUφ100	箇所		1			
取付(2)-1	VUφ300	箇所		1			
取付(2)-2	VUφ250	箇所		1			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	工事名	
							令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】	当初
							事業区分	下水道
							工事区分	函渠
取付(2)-3	VUφ200	箇所		1				
取付(2)-4	VUφ300	箇所		1				
取付(3)-1	VUφ450	箇所		1				
付帯工		式		1				
道路土工		式		1				
床掘り	土砂	m3		120				
埋戻し(2)	RC-40	m3		70				
残土等処分(2)		m3		50				

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】			当初	事業区分	下水道
						工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
舗装仮復旧工		式		1			
路盤(1)		m2		718			
道路付属物撤去工		式		1			
立入防止柵(1)撤去	H=900 再利用撤去	m		56			
立入防止柵(4)撤去	H=1500 再利用撤去	m		13			
門扉撤去		箇所		1			
道路付属物工		式		1			
U字溝(1)	240×240×600	m		56			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
町屋第2雨水幹線築造工事【補助】						
U字溝(2)	240×240×600	m		76		
小型重力式擁壁	18-8-40(BB)	式		1		
立入防止柵(3)復旧	H=900 再利用設置 コンクリート建込	m		56		
立入防止柵(4)復旧	H=1400 再利用設置 コンクリート建込	m		13		
門扉(2)	H=1400 スタックラインSR1型(レール含む) 手動式片開き	箇所		1		
既設構造物撤去工		式		1		
既設構造物撤去(1)	鉄筋構造物	m ³		6		
既設構造物削孔		式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】			当初	事業区分	下水道
							工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
構造物削孔				式		1		
既設構造物運搬処理(1)		鉄筋構造物		m3		6		
仮設工				式		1		
交通管理工				式		1		
交通誘導警備員				式		1		
直接工事費				式		1		
共通仮設				式		1		
共通仮設費				式		1		

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】			当初	事業区分	下水道
		工事区分		共通仮設費			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
運搬費		式		1			
建設機械運搬費		台		1			
仮設材等運搬費		式		1			
仮設材等積み取卸し		式		1			
技術管理費		式		1			
簡易支持力測定試験		箇所		1			
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			

工事数量総括表

		工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【補助】			当初	事業区分	下水道
							工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		
スクラップ評価額				式		1		
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
						工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
函渠		式		1			
掘進工(オープンシルト工法)		式		1			
函渠工(2000×1800mm)		式		1			
オープンシルト機費	裏込注入タイプ(NoS I型)	式		1			
仮設備工		式		1			
地中残置撤去	裏込注入タイプ(NoS I型)	箇所		1			
掘進作業用道路(2)	t=22mm	式		1			
特許実施料		式		1			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
町屋第2雨水幹線築造工事【単独】						
特許実施料		式		1		
地下水位低下工		式		1		
ウレシ°イソ(1)	設置間隔@1.0m ^φ ソ ^φ 1台 常時排水	式		1		
ウレシ°イソ(2)	設置間隔@1.0m ^φ ソ ^φ 1台 常時排水	式		1		
ウレシ°イソ埋設		式		1		
立坑工(到達立坑)		式		1		
付帯工		式		1		
現場打集水桝	1.6m×3.2m×2.7m	箇所		1		

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
						工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管きよ工		式		1			
管路土工		式		1			
管路掘削(1)		m3		30			
管路埋戻(1)		m3		10			
発生土処理(1)		m3		20			
水路築造工		式		1			
L型水路(1)	3000×1300	式		1			
L型水路(2)	3000×1200	式		1			

工事数量総括表

		工事名 令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初		事業区分 下水道	
							工事区分 函渠	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管路土留工			式		1			
軽量鋼矢板土留(2)			式		1			
付帯工			式		1			
大型土のう		流用土	袋		3			
付帯工			式		1			
舗装撤去工			式		1			
舗装版切断(施工パッケージ)		アスファルト舗装版 15cm以下	m		209			
舗装版破碎(1)			m2		837			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】						
舗装版破碎(2)		m2		25		
殻運搬(1)		m3		42		
殻運搬(2)		m3		1		
殻処分	A s 塊	m3		43		
道路土工		式		1		
床掘り	土砂	m3		80		
埋戻し(1)	流用土	m3		20		
埋戻し(2)	RC-40	m3		10		

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
						工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
残土等処分(2)		m3		50			
管路土工		式		1			
管路掘削		m3		5			
管路埋戻		m3		2			
発生土処理(2)		m3		3			
管基礎工		式		1			
砂基礎	管基礎用砂	m3		3			
舗装復旧工		式		1			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
町屋第2雨水幹線築造工事【単独】				工事区分	函渠	
不陸整正(施工パッケージ)	補足材有り; 補足材種類・規格再生クラック マラン RC-40; 補足材整正厚17mm以上21m 未満	m2		836		
表層(1)	材料種類再生密粒度アスファルト混合物(13) ; 舗装厚50mm; 平均幅員3.0m超	m2		1,150		
道路付属物撤去工		式		1		
立入防止柵(1)撤去	H=900 再利用撤去	m		18		
立入防止柵(2)撤去	H=1500 再利用撤去	m		5		
立入防止柵(3)撤去	H=1800 再利用撤去	m		94		
仮囲い撤去		m		112		
道路反射鏡撤去	φ 600	基		1		

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
				工事区分		函渠	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
道路橋撤去		箇所		1			
現場監視カメラ撤去		基		1			
道路付属物工		式		1			
プラスチック型側溝(1)	JIS型3種 300A L=2.0m、リトル認定製品	m		78			
プラスチック型側溝(2)	JIS型3種 300A 電柱除け	箇所		5			
側溝蓋(1)	JIS型3種 300用 Co蓋	枚		19			
側溝蓋(2)	T-25 300用 Gr蓋 普通目	枚		1			
側溝蓋(3)	JIS型3種 300用Co蓋 電柱除け	枚		40			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
							工事名
町屋第2雨水幹線築造工事【単独】							
プラスチック集水桝(1)	300A T-25 普通目 110° 開閉式	箇所		1			
プラスチック集水桝(2)	600×600×1600 T-25 普通目 110° 開閉式	箇所		1			
既設水路閉塞		式		1			
立入防止柵(1)復旧	H=900 再利用設置 土中建込	m		18			
立入防止柵(2)復旧	H=1500 再利用設置 土中建込	m		5			
立入防止柵(5)	H=1800 コンクリート建込 EN-A1800同等品以上 ロングリン	m		8			
門扉(1)	1800mm×1000mm EN片開き門扉同等品以上 ロングリン	箇所		1			
車線分離標(1)	W800×H650	本		45			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
						工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
車線分離標(2)	H650	本		90			
道路反射鏡復旧		箇所		1			
規制標識復旧		箇所		1			
付属物工		式		1			
駐輪場復旧		箇所		2			
駐輪場電気設備		式		1			
張コンクリート	18-8-25(BB) t=10cm	m ²		641			
スクリーン		箇所		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
						工事区分	函渠
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
排水施設清掃工		式		1			
水路清掃		m		5			
汚泥処分		m ³		5			
既設構造物撤去工		式		1			
既設水路取壊し	ウォールソーイング、削孔	式		1			
舗装版切断(2)	Co版	m		18			
コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋Co	m ³		64			
コンクリート構造物取壊し(2)	無筋Co	m ³		15			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
令和5年度下工公補第1号						
町屋第2雨水幹線築造工事【単独】						
工事区分						
函渠						
コンクリート取壊し運搬処理(1)	鉄筋Co	m3		64		
コンクリート取壊し運搬処理(2)	無筋Co	m3		15		
現場発生品運搬(1)		式		1		
現場発生品運搬(2)		式		1		
現場発生品運搬(3)	現場→天神 ^ホ ヅ ^ホ 場	式		1		
仮設工		式		1		
仮水路工		式		1		
仮排水	VUφ150	式		1		

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
				工事区分		函渠	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
作業ヤード整備工		式		1			
作業ヤード整備		式		1			
電力設備工		式		1			
高圧受電設備設置撤去	100kW以下	箇所		1			
交通管理工		式		1			
交通誘導警備員		式		1			
雑工		式		1			
止水ワラフ	φ150	箇所		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
		工事区分		共通仮設費			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
運搬費		式		1			
仮設材等運搬費	片道運搬距離= 10 km	式		1			
仮設材等積込み取卸し	各2回（往復分）	式		1			
事業損失防止施設費		式		1			
家屋調査費		式		1			

工事数量総括表

		工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
							工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
役務費				式		1		
電力基本料金		高圧電力A 臨時契約		式		1		
借地料				式		1		
資産使用料				式		1		
技術管理費				式		1		
土質等試験費				式		1		
共通仮設費（率計上）				式		1		
純工事費				式		1		

工事数量総括表

		工事名	令和5年度下工公補第1号 町屋第2雨水幹線築造工事【単独】			当初	事業区分	下水道
							工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別		規格		単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
現場管理費				式		1		
工事原価				式		1		
一般管理費等				式		1		
スクラップ評価額				式		1		
工事価格				式		1		
消費税相当額				式		1		
工事費計				式		1		

令和5年度下工公補第1号
町屋第2雨水幹線築造工事

数量総括表
(補助対象工事)

レベル1 : 函渠

レベル1 : 共通仮設

レベル1 : スクラップ評価額

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
掘進工 (オープンシールド工法)	函渠工 (2000×1800mm)	掘進 (NoS I 型)	【掘進工計算書】より			
			掘進	N= 1.0 式	式	1.0
			切羽作業	N= 1.0 式		
				10.00 m		
			坑内作業	N= 1.0 式		
				63.60 m		
			坑外作業	N= 1.0 式		
				10.00 m		
			【掘進土工計算書】より			
			掘削及び埋戻手間は切羽・坑内・坑外・機械機器費等を含む掘進発生土処理			
掘削土(地下水位以浅)	V= 384.80 m3					
【掘進土工計算書】より						
掘削及び埋戻手間は切羽・坑内・坑外・機械機器費等を含む埋戻材料						
RC-40	V= 205.90 m3 × 1.20 = 247.08 m3					
裏込注入資機材費	N= 1.0 式	式	1.0			
(NoS I 型)	裏込注入資機材設置	N= 1.00 回				

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		機械器具損料 (NoS I 型)	裏込注入資機材撤去 N= 1.00 回 【裏込注入材料単位数量計算書】より 裏込注入材料 N= 1.0 式 【裏込注入機材(1)単位数量計算書】より 裏込注入機材(1) N= 1.0 式 【裏込注入機材(2)単位数量計算書】より 裏込注入機材(2) N= 1.0 式 N= 1.0 式 【機械器具損料単位数量計算書】より 機械器具損料費 油圧機器 N= 1.0 式 【機械器具賃料単位数量計算書】より 機械器具賃料費 重機等 N= 1.0 式 【機械器具賃料単位数量計算書】より 機械器具燃料費 重機燃料 N= 1.0 式	式	1.0
		既設水路取壊し	ウォールソーイング、削孔 【既設水路取壊し単位数量計算書】より		

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
	仮設備工	掘進作業用道路(1)	N= 1.0 式	式	1.0	
			【掘進作業用道路単位数量計算書】より N= 1.0 式	式	1.0	
	目地・モルタル工	油圧機器設置撤去 (NoS I 型)	【油圧機器設置撤去単位数量計算書】より N= 1.0 箇所	箇所	1.0	
		オープンシールド機解体撤去	N= 1.0 箇所	箇所	1.0	
		目地 (NoS I 型)	Nos裏込注入タイプ(NoS I 型) 耐震目地(特殊仕様 変位量30mm) プレキャストカルパート2.0m×1.8m N= 55.00 箇所 L= (2.00 m - 0.20 m × 2.00) × 2.00 箇所 + (1.80 m - 0.20 m × 2.00) × 2.00 箇所 + (0.20 m × 2 ^{1/2}) × 4.00 = 7.13 m L= 7.13 m × 55.00 箇所 = 392.15 m	箇所	箇所	55.0
		モルタル (NoS I 型)	無収縮モルタル プレキャストボックス2.0m×1.8m N= 55.00 箇所	箇所	箇所	55.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
立坑工 (到達立坑)	函体費	プレキャストボックス材料(1)	【プレキャストボックス材料(1)単位数量計算書】より プレキャストボックス2.0m×1.8m N= 1.0 式	式	1.0
		プレキャストボックス材料(2)	【プレキャストボックス材料(2)単位数量計算書】より M20-45、摩擦接合高力ボルト N= 1.0 式	式	1.0
		裏込注入廃材処理施設 (NoS I 型)	【裏込注入廃材処理施設単位数量計算書】より N= 1.0 式	式	1.0
	管路掘削	立坑掘削	土砂 【到達立坑詳細図】より (A-A) V= 10.60 m2 × 0.50 m = 5.30 m3 (B-B) V= 8.30 m2 × 7.00 m = 58.10 m3 (C-C) V= 11.90 m2 × 0.50 m = 5.95 m3 Σ V= 69.35 m3	m3	69.4

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		立坑埋戻(1)	RC-40 【到達立坑詳細図】より W≥4.0m (A-A) V= 10.60 m2 × 0.50 m = 5.30 m3 (C-C) V= 14.10 m2 × 5.50 m = 77.55 m3 Σ V= 82.85 m3	m3	82.9
		立坑埋戻(2)	RC-40 【到達立坑詳細図】より W≤1.0m (B-B) V= 5.00 m2 × 2.00 m = 10.00 m3	m3	10.0
		発生土処理(1)	土砂 V= 69.35 m3 ▲ 大型どこのう流用土 V= 1.00 m3 × 6.00 袋 = 6.00 m3 Σ V= 63.35 m3	m3	63.4
	土留工	軽量鋼矢板土留(1)	掘削深 3.5m<H≤3.8m 【軽量鋼矢板土留(1)単位数量計算書】より N= 1.0 式	式	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
取付管およびます工	取付管布設工	取付(1)-1	【取付(1)単位数量計算書】より VUφ100 N=	1.0 箇所	箇所 1.0
		取付(2)-1	【取付(2)-1単位数量計算書】より VUφ300 N=	1.0 箇所	箇所 1.0
		取付(2)-2	【取付(2)-2単位数量計算書】より VUφ250 N=	1.0 箇所	箇所 1.0
		取付(2)-3	【取付(2)-3単位数量計算書】より VUφ200 N=	1.0 箇所	箇所 1.0
		取付(2)-4	【取付(2)-4単位数量計算書】より VUφ300 N=	1.0 箇所	箇所 1.0
		取付(3)-1	【取付(3)-1単位数量計算書】より VUφ450 N=	1.0 箇所	箇所 1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
付帯工	道路土工	床掘り	【付帯工土工定規図、小型重力式擁壁計算書】より V= 119.50 m ³	m ³	119.5
		埋戻し(2)	【付帯工工法図、小型重力式擁壁計算書】より V= 66.5 m ³	m ³	66.5
		残土等処分(2)	V= 119.50 m ³ - 66.50 m ³ / 0.90 = 45.61 m ³	m ³	45.6
	舗装仮復旧工	路盤(1)	【舗装仮復旧工計算書】より RC-40 t=20cm A= 717.90 m ²	m ²	717.9
		道路付属物撤去工	立入防止柵(1)撤去	再利用撤去 H=0.9m 【既設構造物・付帯工撤去平面図】より L= 55.60 m	m
	立入防止柵(4)撤去		再利用撤去、H=1.5m 【既設構造物・付帯工撤去平面図】より L= 5.00 m + 8.00 m = 13.00 m	m	13.0
	門扉撤去		【既設構造物・付帯工撤去平面図】より N= 1.00 箇所	箇所	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	道路附属物工	U字溝(1)	240×240×600 【付帯工平面図、U字溝(1)単位数量計算書】より L= 55.60 m	m	55.6
		U字溝(2)	240×240×600 【付帯工平面図、U字溝(2)単位数量計算書】より L= 61.50 m + 14.40 m	m	75.9
		小型重力式擁壁	18-8-40(BB) 【付帯工平面図、小型擁壁単位数量計算書】より N= 1.0 式 L= 55.60 m	式	1.0
		立入防止柵(3)復旧	H=0.9m コンクリート建込 【付帯工平面図】より 再利用設置 L= 55.60 m	m	55.6
		立入防止柵(4)復旧	H=1.40m コンクリート建込 【付帯工平面図】より 再利用設置 L= 5.00 m + 8.00 m = 13.00 m	m	13.0
		門扉(2)	スタックラインSR1型(レール含む)手動式 片開き H=1.40m 【付帯工平面図、門扉(2)単位数量計算書】より N= 1.00 箇所	箇所	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	既設構造物撤去工	既設構造物撤去(1)	鉄筋構造物 既設水路 梁 $V = 0.20 \text{ m} \times 0.20 \text{ m} \times 3.00 \text{ m} = 0.12 \text{ m}^3$ 既設水路撤去延長 $L = 72.84 \text{ m}$ 取壊し本数 $N = 72.84 \text{ m} / 1.50 \text{ m/本} = 49 \text{ 本}$ 既設水路 梁 $V = 0.12 \text{ m}^3 \times 49.00 \text{ 本} = 5.88 \text{ m}^3$	m3	5.9
		既設構造物削孔	N= 1.0 式 取付(2)-1 削孔径 φ 300 削孔深 150cm N= 1.00 孔 取付管(2)-2 削孔径 φ 250 削孔深 90cm N= 1.00 孔 取付(2)-3 削孔径 φ 200 削孔深 50cm以上55cm以下 N= 1.00 孔 取付(2)-4 削孔径 φ 300	式 孔 孔 孔	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		構造物削孔	削孔深 140cm N=	1.00	孔
			取付(2)-1 削孔径 φ 300 削孔深 10cm以上25cm以下 N=	1.00	孔
			取付(2)-2 削孔径 φ 250 削孔深 15cm以上20cm以下 N=	1.00	孔
			取付(2)-3 削孔径 φ 200 削孔深 15cm以上20cm以下 N=	1.00	孔
			取付(2)-4 削孔径 φ 300 削孔深 10cm以上25cm以下 N=	1.00	孔
			取付(3)-1 削孔径 φ 450 削孔深 15cm以上20cm以下 N=	1.00	孔
		既設構造物運搬処理	鉄筋構造物 V=	5.88	m3

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			取付(2)-1、取付(2)-4 $V = \frac{\pi \times 0.30^2 \times 1.50}{4.00} = 0.11 \text{ m}^3$		
			$V = \frac{\pi \times 0.30^2 \times 0.16}{4.00} = 0.01 \text{ m}^3$		
			取付(2)-2 $V = \frac{\pi \times 0.25^2 \times 0.90}{4.00} = 0.04 \text{ m}^3$		
			$V = \frac{\pi \times 0.25^2 \times 0.16}{4.00} = 0.01 \text{ m}^3$		
			取付(2)-3 $V = \frac{\pi \times 0.20^2 \times 0.70}{4.00} = 0.02 \text{ m}^3$		
			$V = \frac{\pi \times 0.20^2 \times 0.16}{4.00} = 0.01 \text{ m}^3$		
			取付(3)-1 $V = \frac{\pi \times 0.45^2 \times 1.00}{4.00} = 0.03 \text{ m}^3$		
			$\Sigma V = 6.11 \text{ m}^3$	m3	6.1

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
仮設工	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B N=	1.0 式 158.0 人	式	1.0
			共通仮設	運搬費	建設機械運搬費	N=
		山梨県大月市～三重県津市 掘進機器 複路 掘進機 W=	70.00 t			
		仮設材等運搬費	往復 W=139.6t N=	1.0 式	式	1.0
			掘進作業用道路敷鉄板 W= 174.00 枚 × 0.802 枚/t = 139.6 t	t		
		仮設材等積込み取卸し	往復 W=139.6t N=	1.0 式	式	1.0
	技術管理費	簡易支持力測定試験	キャスホル試験 N=	1.00 箇所	箇所	1.0

数 量 計 算 書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
スクラップ評価額	スクラップ評価額	スクラップ控除	揺止鋼材 N= 1.0 式 W= 3.18 t M20-45 摩擦接合用高力ボルト 組 kg/組 W= 1824.00 * 0.348 / 1000.00 = 0.63 t Σ W= 3.81 t	式	1.0

掘 進 工 計 算 書

補助対象工事

細別	掘進工計算書	1.0式
規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)	当り

【掘進工概略図】
 地中残置 L=6.4m

掘 進 方 向 →

到達立坑
8.0m × 5.0m
シールド機

【初期掘進】 No.52+12.940～No.53+2.940 L=10.00m	【直線掘進】 No.53+2.940～No.56+6.540 L=63.60m	【到達掘進】 No.56+6.540～No.56+16.540 L=10.00m
【掘進延長】 No.52+12.940～No.56+16.540 L=10.00m+63.60m+10.00m=83.60m		
【函体延長】 No.52+12.940～No.56+16.540 L=83.60m		
【地中残置】 No.52+12.940～No.52+19.340 L=6.40m	【掘削延長】 No.52+19.340～No.56+16.540 L=77.20m	
【前回既設水路取壊し延長】 No.52+12.940～No.53+3.70 L=10.76m	【既設水路取壊し延長】 No.53+3.70～No.56+16.540 L=72.84m	単独費計上 【既設水路取壊し延長】 No.56+16.540～No.57+6.540 L=10.00m

※ 立坑を発進してから10mまでを初期掘進とする。また、到達立坑手前10mを到達掘進とする。

単位数量計算書

補助対象工事

細別	切羽作業				1.0式	細別	坑内作業				1.0式
規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)				当り	規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)				当り
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
初期切羽作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L= 10.00 m			m	10.00	初期坑内作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L= 10.00 m			m	10.00
直線切羽作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L= 63.60 m			m	63.60	直線坑内作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L= 63.60 m			m	63.60
到達切羽作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L= 10.00 m			m	10.00	到達坑内作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L= 10.00 m			m	10.00

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	坑外作業				1.0式	細別					
規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)				当り	規格					
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
初期坑外作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L=			10.00	m	m	10.00				
直線坑外作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L=			63.60	m	m	63.60				
到達坑外作業	裏込注入タイプ(NoS I 型) L=			10.00	m	m	10.00				

掘進工計算書

補助対象工事

測点	距離	掘進掘削(地下水以浅)		掘進埋戻(RC-40)		裏込一次注入		裏込二次注入			
		断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)		
自: No.52+12.94				2.9		0.69		0.64			
至: No.52+19.34	6.4			2.9	18.6	0.69	4.4	0.64	4.1		
自: No.52+19.34		5.5		2.9		0.69		0.64			
至: No.53	0.7	5.5	3.9	2.9	2.0	0.69	0.5	0.64	0.4		
自: No.53		5.5		2.9		0.69		0.64			
至: No.54	20.0	5.2	107.0	2.6	55.0	0.69	13.8	0.64	12.8		
自: No.54		5.2		2.6		0.69		0.64			
至: No.55	20.0	5.0	102.0	2.3	49.0	0.69	13.8	0.64	12.8		
自: No.55		5.0		2.3		0.69		0.64			
至: No.56	20.0	4.6	96.0	2.2	45.0	0.69	13.8	0.64	12.8		
自: No.56		4.6		2.2		0.69		0.64			
至: No.56+16.54	16.5	4.6	75.9	2.2	36.3	0.69	11.4	0.64	10.6		
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
計	83.6		384.8		205.9		57.7		53.5		

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	裏込注入材料	1.0式	細別	裏込注入材料	1.0m3		
規格	オープンシート工法用裏込注入材(A液、B液材含む)	当り	規格	オープンシート工法用裏込注入材(A液、B液材含む)	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
裏込注入材料	裏込注入タイプ(NoS I 型) オープンシート工法用裏込注入材(A液、B液材含む) 【裏込注入材料、裏込注入量計算書】より 一次注入量 V= 57.70 m3 二次注入量 V= 53.50 m3 裏込必要注入量 V= 57.70 m3 × 1.10 = 63.47 m3 V= 53.50 m3 × 1.30 = 69.55 m3 Σ V= 133.02 m3	m3	133.02	裏込注入材料	オープンシート工法用裏込注入材 (A液材、B液材含む) V= 1.00 m3 水(820L) V= 0.82 m3		

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	裏込注入機材(1)		1.0式	細別	裏込注入機材(1)		1.0式		
規格	裏込注入機材、配管材		当り	規格	裏込注入機材、配管材		当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
配管延長 ※ 仮設備設置ヤードからの距離とする	施工済工区	施工工区			裏込注入機材(1)	裏込注入タイプ(NoS I 型) 裏込注入機材、配管材			
	L= 319.02 m + 83.60 m				N=	1.0 式	式		1.0
		= 402.62 m							
A液配管、B液配管 L=6.0m/個					裏込注入プラント	手動作液プラント(B液タンク含む)			
N= 402.62 m / 6 m/本						4,890 円 × [] 供用日			
		= 67.00 本				= 230,808 円			
A液配管、B液配管ジョイント					A液注入ポンプ	36L/min、11kw			
N= 67.00 個 + 1.00 個					N=	2,130 円 × [] 供用日			
		= 68.00 個				= 100,536 円			
スポンジクリーナー、10mに1個					B液注入ポンプ	4.0L/min、1.5kw			
N= 402.62 m / 10 m/個						900 円 × [] 供用日			
		= 41.00 個				= 42,480 円			
坑内監視盤用信号線、100mに1巻					注入ポンプ制御盤	坑内遠隔盤含む			
N= 402.62 m / 100 m/巻					N=	9,730 円 × [] 供用日			
		= 4.00 個				= 459,256 円			
					A液電磁流量計	50A、変換器付			
					N=	1,400 円 × [] 供用日			
						= 66,080 円			
					B液電磁流量計	10A、変換器付			
					N=	1,400 円 × [] 供用日			
						= 66,080 円			

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	裏込注入機材(1)	1.0式	細別	裏込注入機材(2)	1.0式		
規格	裏込注入機材、配管材	当り	規格	消耗品等	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
圧力測定装置	N= 280 円 × 供用日 = 13,216 円			裏込注入機材(2)	裏込注入タイプ(NoS I 型) 消耗品等 N= 1.0 式 式 1.0		
A液配管	鋼管 2インチ L=6.0m N= 17 円 × 供用日 × 67.00 本 = 53,760 円			特殊2重管	N= 1,210 円 × 供用日 = 57,112 円		
A液配管 ジョイント	2インチ ワンタッチジョイント N= 11 円 × 供用日 × 68.00 個 = 35,305 円			クリーナー 投入口	N= 420 円 × 供用日 = 19,824 円		
B液配管	鋼管 1インチ L=6.0m N= 13 円 × 供用日 × 67.00 本 = 41,111 円			クリーナー 回収口	N= 1,210 円 × 供用日 = 57,112 円		
B液配管 ジョイント	1インチ ワンタッチジョイント N= 9 円 × 供用日 × 68.00 個 = 28,886 円			注入口 廻り部品	N= 2,420 円 × 供用日 = 114,224 円		
	裏込注入機材(1) 合計 1,137,518 円			ポンプ廻り部品	N= 900 円 × 供用日 = 42,480 円		
				裏込注入機材(2) 合計 290,752 円			
				スポンジクリーナー	10mlに1個 N= 41.00 個 個 41.00		
				坑内監視盤用 信号線	100mに1巻 N= 4.00 巻 巻 4.00		

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	裏込注入機材(2)			1.0式	細別				
規格	裏込注入機材、配管材			当り	規格				
名称	算式			単位	数量	名称	算式		
注入漏れ防止材	一次注入量 V=	57.70	m3	m3	57.70				

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	機械器具賃料	1.0式	細別	機械器具賃料	1.0式		
規格	油圧機器	当り	規格	油圧機器	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
機械器具損料	裏込注入タイプ(NoS I 型) 油圧機器 N= 1.0 式 式 1.0			操作盤(B)	4S N= 1,290 円 × 供用日 × 2.00 台 = 129,258 円		
シールトジャッキ	1000kN、1650mmストローク N= 6,710 円 × 供用日 × 6.00 台 = 2,017,026 円			油圧ホース	L=10.0m/本 N= 190 円 × 83.60 m × 8 本 = 127,072 円		
中折れジャッキ	1000kN、400mmストローク N= 1,160 円 × 供用日 × 6.00 台 = 348,696 円			油圧ホース	L=5.0m/本 N= 95 円/m本 × 83.60 m × 8 本 = 63,536 円		
スライドジャッキ	500kN、1000mmストローク N= 2,590 円 × 供用日 × 6.00 台 = 778,554 円			油圧ホース	L=3.0m/本 N= 57 円 × 83.60 m × 48 本 = 228,729 円		
けん引ジャッキ	200kN、200mmストローク N= 1,410 円 × 供用日 × 6.00 台 = 423,846 円			油圧作動油	耐摩耗性型 N= 245 円 × 83.60 m × 1.5 L × 2.00 台 = 61,446 円		
油圧ポンプ	11kW N= 5,690 円 × 供用日 × 2.00 台 = 570,138 円			機械器具賃料(油圧機器)	合計 5,070,945 円		
操作盤(A)	6S N= 1,610 円 × 供用日 × 4.00 台 = 322,644 円						

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	機械器具賃料	1.0式	細別	機械器具燃料	1.0式		
規格	重機等	当り	規格	重機燃料	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
機械器具賃料	裏込注入タイプ(NoS I 型) 重機等 N= 1.0 式 式	式	1.0	機械器具燃料費	裏込注入タイプ(NoS I 型) 重機燃料 N= 1.0 式 式	式	
バックホウ賃料(1)	掘削用バックホウ(クレーン付) 山積0.45m3 N= [] 円 × [] 供用日 × 1.00 台 = 339,678 円			バックホウ燃料(1)	掘削用バックホウ(クレーン付) 山積0.45m3 ℓ= 12.70 ℓ/日 × [] 運転日 = 374 ℓ		
バックホウ賃料(2)	埋戻用バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3 N= [] 円 × [] 供用日 × 1.00 台 = 314,127 円			バックホウ燃料(2)	埋戻用バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3 ℓ= 3.60 ℓ/日 × [] 運転日 = 106 ℓ		
タンパ賃料	60kg~80kg N= [] 円 × [] 供用日 × 2.00 台 = 26,753 円			タンパ燃料	60kg~80kg ℓ= 1.50 ℓ/日 × [] 運転日 = 44 ℓ		
フォークリフト賃料	7.0t級 N= [] 円 × [] 供用日 × 1.00 台 = 1,252,500 円			フォークリフト燃料	7.0t級 ℓ= 0.80 ℓ/日 × [] 運転日 = 23 ℓ		
	機械器具賃料(重機等) 合計 1,933,058 円						

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	既設水路取壊し	1.0式	細別	既設水路取壊し	1.0式		
規格	ウォールソーイング、削孔	当り	規格	ウォールソーイング、削孔	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
既設 水路取壊し	ウォールソーイング、コアドリリング N= 1.0 式	式	1.0	削孔(1)	削孔(1)φ100mm 削孔深 削孔深 20cm以上40cm以下 N= 72.84 m / 0.75 m/孔 × 1.00 孔 = 97.12 孔 ≒ 98.00 孔	孔	98.00
ウォール ソーイング(1)	底版 ウォールソーイング切断深 ウォールソーイング切断深30cm以上35cm以下 ウォールソーイング切断縦断延長 【掘進工計算書】より L= 72.84 m ウォールソーイング切断横断延長 N= 72.84 m / 0.75 m/箇所 = 97.12 箇所 ≒ 98.00 箇所 L= ((2.85 m - 0.20 m - (0.15 m × 2 箇所)) × 98.00 箇所 = 230.30 m Σ L= 303.14 m	m	303.14	削孔(2)	削孔(2)φ150mm 削孔深 削孔深 20cm以上40cm以下 N= 72.84 m / 0.75 m/孔 × 1.00 孔 = 97.12 孔 ≒ 98.00 孔	孔	98.00
ウォール ソーイング(2)	側版 ウォールソーイング切断深 ウォールソーイング切断深15cm以上20cm以下 ウォールソーイング切断縦断延長 N= 72.84 m / 0.75 m/箇所 = 97.12 箇所 ≒ 98.00 箇所 L= 98.00 箇所 × 1.25 m/箇所 = 122.50 m	m	122.50	削孔(3)	削孔(3)φ150mm 削孔深 削孔深 45cm以上50cm以下 N= 72.84 m / 0.75 m/孔 × 2.00 孔 = 194.24 孔 ≒ 195.00 孔	孔	195.00

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	既設水路取壊し	1.0式	細別	既設水路取壊し	1.0式		
規格	ウォールソーイング、削孔	当り	規格	ウォールソーイング、削孔	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
既設構造物 運搬	現場→作業ヤードまで 施工済み延長 第1工区 第2工区 L= 105.19 m + 214.01 m = 319.20 m	m3	67.74	Σ V= 65.49 m3	m3	65.49	
	施工延長 L= (72.84 m / 2.00) = 36.42 m Σ L= 355.62 m V= 0.93 m2 × 72.84 m = 67.74 m3			m3	67.74		
コンクリート構造物 取壊し(1)	鉄筋構造物 V= 0.93 m2 × 72.84 m = 67.74 m3 削孔(1) ▲ V= (0.10 × 0.10 × π) / 4.00 × 0.20 × 98.00 箇所 = 0.15 m3 削孔(2) ▲ V= (0.15 × 0.15 × π) / 4.00 × 0.30 × 98.00 箇所 = 0.52 m3 削孔(3) ▲ V= (0.15 × 0.15 × π) / 4.00 × 0.46 × 195.00 箇所 = 1.58 m3			コンクリート取壊し 運搬処理(1) 鉄筋構造物 V= 67.74 m3	m3	67.74	

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	掘進作業用道路(1)			1.0式	細別	掘進作業用道路(1)			1.0式		
規格	t=22mm			当り	規格	t=22mm			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
敷鉄板設置	水路築造側					使用日数	<input type="text"/>	日			
	施工済み延長					使用枚数	174.00	枚			
	第1工区		第2工区			日当り賃貸料金	<input type="text"/>	円/枚・日			
	L= 105.19 m	+	214.01 m			整備費	<input type="text"/>	円/枚			
			= 319.20 m			賃貸料金					
	施工済み延長		敷鉄板			使用日数 × 使用枚数 × 日当り賃貸料金	<input type="text"/>	× 174.00 × <input type="text"/>			
	A= 319.20 m	/	1.524 m			=	<input type="text"/>				
	× 3.024 m		= 633.37 m ²			整備費					
	既設水路側					使用枚数 × 整備費	174.00 × <input type="text"/>	=	<input type="text"/>		
	施工延長		敷鉄板			敷鉄板賃料	<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	=	<input type="text"/>
	A= 83.60 m	/	1.524 m			整備費	<input type="text"/>	=	<input type="text"/>	円	
	× 3.024 m		= 165.88 m ²								
			Σ A= 799.25 m ²	m ²	799.25						
敷鉄板撤去	A=		799.25 m ²	m ²	799.25						
既設水路 支保	ハイブサポート支保工 H<4m 40KN/m ² 以下										
	V= <input type="text"/>	m	× <input type="text"/>	m							
	× <input type="text"/>	m	= <input type="text"/>	空m ³	空m ³	251.00					
掘進 作業用道路 敷鉄板賃料	N=		1.0 式	式	1.0						
	敷鉄板										
	敷鉄板使用枚数										
	A= 799.25 m ²	/	(1.524 m								
	× 3.024 m)	= 173.43 枚								
			≒ 174.00 枚								

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	油圧機器設置撤去			1.00箇所	細別				
規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)			当り	規格				
名称	算式			単位	数量	名称	算式		
油圧機器 設置	裏込注入タイプ(NoS I 型) N=			1.00 箇所	箇所	1.00			
油圧機器 撤去	裏込注入タイプ(NoS I 型) N=			1.00 箇所	箇所	1.00			

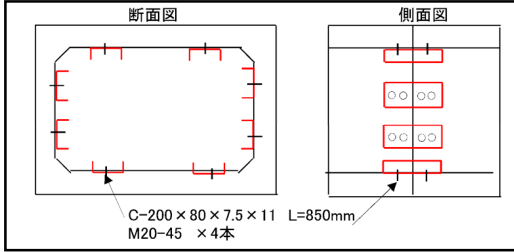
単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	プレキャストボックス材料(1)			1.0式	細別	プレキャストボックス材料(1)			1.0式				
規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)			当り	規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)			当り				
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量		
プレキャスト ボックス(1)	Nos I 型 2000×1800×1500 標準型	N=	47.00	個	個	47.00	プレキャスト ボックス(8)	Nos I 型 2000×1800×1100 短尺型	N=	1.00	個	個	1.00
プレキャスト ボックス(2)	Nos I 型 2000×1800×1500 側壁開口 φ400mm	N=	1.00	個	個	1.00							
プレキャスト ボックス(3)	Nos I 型 2000×1800×1500 側壁開口 φ300/2mm	N=	2.00	個	個	2.00							
プレキャスト ボックス(4)	Nos I 型 2000×1800×1500 側壁開口 φ250mm	N=	1.00	個	個	1.00							
プレキャスト ボックス(5)	Nos I 型 2000×1800×1500 側壁開口 φ400/2mm	N=	2.00	個	個	2.00							
プレキャスト ボックス(6)	Nos I 型 2000×1800×1500 側壁開口 550mm×700mm	N=	1.00	個	個	1.00							
プレキャスト ボックス(7)	Nos I 型 2000×1800×1500 側壁開口 φ250 φ200	N=	1.00	個	個	1.00							

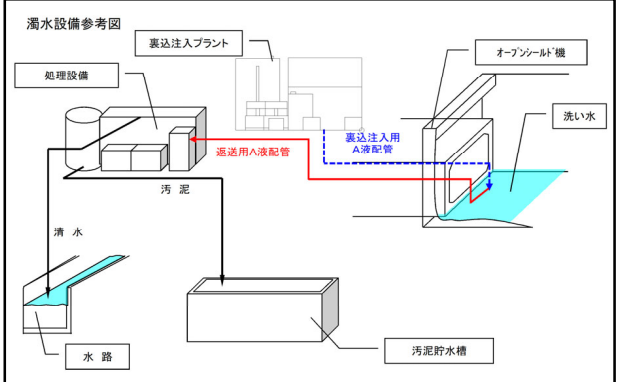
単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	プレキャストボックス材料(2)	1.0式	細別				
規格	M20-45、摩擦接合高力ボルト	当り	規格				
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
函渠 揺止鋼材費	 <p>C-200×80×7.5×11 L=850mm M20-45 ×4本</p> <p>N= 1.0 式</p> <p>C-200×80×7.5×11、0.025t/m</p> <p>支圧壁撤去可能函体距離</p> <p>N= 28.70 m / 1.50 m</p> <p>= 19.10 ≒ 20.00 個</p> <p>N= 20.00 個 - 1.00 個</p> <p>= 19.00 個</p> <p>C-200×80×7.5×11、0.025t/m</p> <p>W= 19.00 個 × 8.00 本</p> <p>× 0.0246 t/m × 0.85 m</p> <p>= 3.18 t</p> <p>C-200×80×7.5×11、0.025t/m</p> <p>重量t 円/t</p> <p>3.18 × <input type="text"/> = 392,730 円</p>	式	1.0				
函渠固定ボルト	<p>函渠数</p> <p>N= = 57.00 個</p> <p>M20-45 ボルト</p> <p>N= 57.00 個 × 8.00 本</p> <p>× 4.00 組 = 1824.00 本</p>	本	1824.00				

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	裏込注入廃材処理施設			1.0式	細別	裏込注入廃材処理施設			1.0式		
規格	裏込注入タイプ [®] (NoS I 型)			当り	規格	裏込注入タイプ [®] (NoS I 型)			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
裏込注入 廃材処理 装置損料	裏込注入タイプ [®] (NoS I 型) 【裏込注入廃材処理施設損料単位数量計算書】より N= 1.0 式			式	1.0	 <p>濁水量算出 $Vd=(n \times A \times L) \times T$ $Vd=$ 濁水量 m3 $A=$ A液配管の断面積(0.002m2) m2 $L=$ 平均掘進延長(掘進延長/2) m 掘進延長=(施工済工区+施工工区+余裕長) $T=$ 施工実日数 日 $n=$ 洗浄回数(3.0回) 日 \square 裏込注入廃材処理装置日数 日 $Vd=$ 3.00 回 \times 0.002 m2 \times 206.40 m \times <input type="text"/> 日 = 34.43 m3 ※ 配管延長=仮設備設置ヤードからの距離とする 第1工区 第2工区 $L=$ 105.19 m + 214.01 m = 319.20 m</p>					
裏込注入 廃材処理設置	N= <input type="text"/> 1.00 回			回	1.00						
裏込注入 廃材処理撤去	N= <input type="text"/> 1.00 回			回	1.00						
裏込注入 廃材処理施設 保守点検費	裏込注入廃材処理装置運転日数 N= <input type="text"/> 日			日							
汚泥吸引車 運搬	V= 8.15 m3			m3	8.15						
汚泥処分費	V= 8.15 m3			m3	8.15						
液化炭酸ガス	W= 0.074 kg/日 \times <input type="text"/> 日 = 2.06 kg			kg	2.06						
希硫酸	W= 0.114 kg/日 \times <input type="text"/> 日 = 3.17 kg			kg	3.17						

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	裏込注入廃材処理施設	1.0式	細別	裏込注入廃材処理施設	1.0式		
規格	裏込注入タイプ ^① (NoS I 型)	当り	規格	裏込注入タイプ ^① (NoS I 型)	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
施工延長				全濁水量=(濁水量V _d +水量V _w +濁土量V _s)			
L=	83.60	m		34.43 m ³ + 3.33 m ³			
余裕長				+ 8.15 m ³ = 45.91 m ³			
L=	10.00	m		全処理水量=(濁水量V _d +水量V _w)			
配管延長				34.43 m ³ + 3.33 m ³			
L=	319.20 m + 83.60 m			= 37.76 m ³			
+ 10.00 m	= 412.80 m			汚泥量			
L=	412.80 m / 2.00			45.91 m ³ - 37.76 m ³			
	= 206.40 m			= 8.15 m ³			
濁土量算出【V _s =A*L*T*α(又はβ)】							
V _s = 濁土量		m ³					
A= A液配管の断面積(0.002m ²)		m ²					
L= 平均掘進延長(掘進延長/2)		m					
配管延長=(施工済工区+施工工区/2+余裕長)							
T= 施工実日数		日					
α= 裏込注入材に対する泥土割合		回					
(普通配合の場合=0.29、高度配合の場合=0.35)							
α= 裏込注入材に対する水割合		回					
(普通配合の場合=0.71、高度配合の場合=0.65)							
□ 裏込注入廃材処理装置日数		日					
泥土量							
V _s = 0.002 m ³ /m × 206.40 m							
× [] 日 × 0.29 (配合)							
= 3.33 m ³							
水量							
V _w = 0.002 m ² × 206.40 m							
× [] 日 × 0.71 (配合)							
= 8.15 m ³							

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	裏込注入廃材処理施設損料		1.0式	細別	裏込注入廃材処理施設損料		1.0式		
規格	裏込注入タイプ [®] (NoS I 型)		当り	規格	裏込注入タイプ [®] (NoS I 型)		当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
※ 配管延長=仮設備設置ヤードからの距離とする					PH中和処理装置損料	5.0m ³ /時 炭酸ガス式 N= <input type="text" value="3,760"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 1.00 機 = <input type="text" value="177,472"/> 円			
第1工区	第2工区				吸引用ホース	N= <input type="text" value="403"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 3.00 本 = <input type="text" value="57,064"/> 円			
L= 105.19 m	+	214.01 m			清水用ホース	N= <input type="text" value="545"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 1.00 本 = <input type="text" value="25,724"/> 円			
		= 319.20 m			水中ポンプ	原水槽用、処理水槽用 φ50 揚程5.0m N= <input type="text" value="180"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 3.00 台 = <input type="text" value="25,488"/> 円			
施工延長	L= 83.60 m				簡易水槽	容量3.0m ³ N= <input type="text" value="472"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 2.00 槽 = <input type="text" value="44,557"/> 円			
余裕長	L= 10.00 m				A液配管	鋼管 2inch L=6.0m N= <input type="text" value="17"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 69.00 本 = <input type="text" value="55,365"/> 円			
配管延長	L= 319.20 m + 83.60 m + 10.00 m = 412.80 m				A液配管ジョイント	2inch ワンタッチジョイント N= <input type="text" value="11"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 70.00 個 = <input type="text" value="36,344"/> 円			
A液配管 L=6.0m/個	N= 412.80 m / 6 m/本 = 69.00 本				裏込注入廃材処理装置損料	裏込注入タイプ [®] (NoS I 型) N= 1.0 式		式	1.0
A液配管	N= 69.00 個 + 1.00 個 = 70.00 個				濁水処理装置損料	濁水処理装置 As-25 最大処理能力3m ³ /時 N= <input type="text" value="7,110"/> 円 × <input type="text"/> 供用日 × 1.00 機 = <input type="text" value="335,592"/> 円			
裏込注入廃材処理装置損料	裏込注入タイプ [®] (NoS I 型) N= 1.0 式		式	1.0	裏込注入廃材処理施設損料	合計 <input type="text" value="757,606"/> 円			

単位数計算書

市単独工事

細別	軽量鋼矢板土留(1)	1.0式	細別	軽量鋼矢板土留(1)	1.0式		
規格	掘削深 3.5m<H≤3.8m	当り	規格	掘削深 3.5m<H≤3.8m	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
軽量鋼矢板 建込・引抜(1)	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m (両側) L= 8.00 m	m	8.00	支保材 設置・撤去 4段	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m (両側) L= 5.00 m + 8.00 m = 13.00 m	m	13.00
軽量鋼矢板 建込・引抜(2)	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m (片側) L= 5.00 m + 1.00 m + 1.00 m = 7.00 m 使用重量 L= 8.00 m × 2.00 箇所 = 16.00 m L= 16.00 m + 7.00 m = 23.00 m N= 23.00 m / 0.333 m/枚 = 69.07 枚 ≒ 69.00 枚 W= 69.00 枚 × 4.00 m × 0.0142 t/m = 3.92 t	m	7.00	支保材 賃料	使用数量①210mm×230mm×5500mm～8000mm マンホール土留 N= 2 本 × 4 段 = 8 本 使用数量②210mm×230mm×4050mm～5100mm マンホール土留 N= 2 本 × 4 段 = 8 本 賃料 供用日数 × 賃料①+② × 使用数量 [] × [] × 8.00 = 498,456 工具 供用日数 × 賃料 = 使用数量 [] × [] × 16.00 = 19,320 Σ = 517,776	m	
軽量鋼矢板 賃料	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m 賃料 供用日数 × 賃料 × 使用重量 [] × [] × 3.92 = 8,015 整備費 整備費 × 係数 = 使用重量 [] × [] × 3.92 = 59,290 Σ = 67,305						

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	取付(1)-1			1.00箇所	細別	取付(2)-1			1.00箇所		
規格	VUφ100			当り	規格	VUφ300			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
排水接続	No55付近 N= 1.00 箇所			箇所	1.00	排水接続	No52+14.0付近 N= 1.00 箇所			箇所	1.00
管路基礎	管路掘削、管路埋戻は側溝工の土工に含む 砂基礎 A= 0.70 m × 0.365 m = 0.26 m ² V= 0.26 m ² × 0.30 m = 0.08 m ³ VUφ150 ▲ V= π/4 × 0.165 ² m × 0.700 m = 0.01 m ³ Σ V= 0.07 m ³			m ³	0.07	管路掘削(2)	土砂 V= 0.90 m × 1.30 m × 0.65 m = 0.76 m ³			m ³	0.76
硬質塩ビニル管 布設	VUφ150 L= 0.30 m + 0.30 m + 0.16 m = 0.76 m			m	0.76	発生土処理(2)	V= 0.76 m ³ / 0.90 = 0.84 m ³			m ³	0.84
硬質塩ビ 継手	φ150 エルボ(VU-L)90° N= 1.00 個			個	1.00	管路基礎	砂基礎 A= 0.90 m × 0.568 m = 0.51 m ² V= 0.51 m ² × 1.30 m = 0.66 m ³ VUφ300 ▲ V= π/4 × 0.318 ² m × 1.300 m = 0.10 m ³ Σ V= 0.56 m ³			m ³	0.56
路盤(2)	RC-40 t=20cm A= 0.70 m × 0.30 m = 0.21 m ²			m ²	0.21	硬質塩ビニル管 布設	VUφ300 L= 1.50 m + 1.30 m + 0.16 m = 2.96 m			m	2.96
						硬質塩ビ 継手	φ300 エルボ(VU-L)90° N= 2.00 個			個	2.00

単位数計算書

補助対象工事

細別	取付(2)-2			1.00箇所	細別	取付(2)-3			1.00箇所		
規格	VUφ250			当り	規格	VUφ200			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
排水接続	No53+5.0付近 N= 1.00 箇所			箇所	1.00	排水接続	No53+17.0付近 N= 1.00 箇所			箇所	1.00
管路掘削(2)	土砂 V= 0.90 m × 1.30 m × 0.60 m = 0.70 m ³			m ³	0.70	管路掘削(2)	土砂 V= 0.80 m × 0.70 m × 0.40 m = 0.22 m ³			m ³	0.22
発生土処理(2)	V= 0.70 m ³ / 0.90 = 0.78 m ³			m ³	0.78	発生土処理(2)	V= 0.22 m ³ / 0.90 = 0.24 m ³			m ³	0.24
管路基礎	砂基礎 A= 0.90 m × 0.517 m = 0.47 m ² V= 0.47 m ² × 1.30 m = 0.61 m ³ VUφ250 ▲ V= π/4 × 0.267 ² m × 1.300 m = 0.07 m ³ Σ V= 0.54 m ³			m ³	0.54	管路基礎	砂基礎 A= 0.80 m × 0.416 m = 0.33 m ² V= 0.33 m ² × 1.30 m = 0.43 m ³ VUφ200 ▲ V= π/4 × 0.216 ² m × 0.700 m = 0.03 m ³ Σ V= 0.40 m ³			m ³	0.40
硬質塩ビ管 布設	VUφ250 L= 0.90 m + 1.30 m + 0.16 m = 2.36 m			m	2.36	硬質塩ビ管 布設	VUφ200 L= 0.50 m + 0.70 m + 0.16 m = 1.36 m			m	1.36
硬質塩ビ 継手	φ300エルボ(VU-L)90° N= 2.00 個			個	2.00	硬質塩ビ 継手	φ200エルボ(VU-L)90° N= 2.00 個			個	2.00

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	取付(2)-3			1.00箇所	細別	取付(2)-4			1.00箇所		
規格	VUφ200			当り	規格	VUφ300			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
異種管 継手	TH φ200 N=	1.00	個	個	1.00	排水接続 No55+5.0付近 N=	1.00	箇所	箇所	1.00	
						管路掘削(2) 土砂 V= 0.90 m × 1.10 m × 0.65 m = 0.64 m3	m3	m3	m3	0.64	
						発生土処理(2) V= 0.64 m3 / 0.90 = 0.71 m3	m3	m3	m3	0.71	
						管路基礎 砂基礎 A= 0.90 m × 0.568 m = 0.51 m2 V= 0.51 m2 × 1.10 m = 0.56 m3 VUφ300 ▲ V= π/4 × 0.318 ² m × 1.100 m = 0.06 m3 Σ V= 0.50 m3	m3	m3	m3	0.50	
						硬質塩ビ管 布設 L= 1.40 m + 1.10 m + 0.16 m = 2.66 m	m	m	m	2.66	
						硬質塩ビ 継手 φ300 エルボ(VU-L)90° N=	2.00	個	個	2.00	

単 位 数 量 計 算 書

補助対象工事

細別	取付(3)-1	1.00箇所	細別				
規格	VUφ450	当り	規格				
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
排水接続	No55+9.0付近 N= 1.00 箇所	箇所	1.00				
管路基礎	管路掘削、管路埋戻は側溝工の土工に含む 砂基礎 A= 1.10 m × 0.72 m = 0.79 m ² V= 0.79 m ² × 0.16 m = 0.13 m ³ VUφ150 ▲ V= π/4 × 0.470 ² m × 0.16 m = 0.03 m ³ Σ V= 0.10 m ³	箇所 m ³	 0.10				
硬質塩ビ管 布設	VUφ450 L= 0.32 m	m	0.32				
路盤(2)	RC-40 t=20cm A= 0.70 m × 0.16 m = 0.11 m ²	m ²	0.11				

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	小型重力式擁壁	1.0式	細別		1.0式		
規格	18-8-40(BB)	当り	規格		当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
重力式擁壁	18-8-40(BB) 【付帯工工法図(3)、小型重力擁壁コンクリート計算書】より V= 42.40 m ³	m ³	42.40				
円形型枠	φ 50 N= 55.60 m / 2.00 m/箇所 = 27.80 箇所 ≒ 28.00 箇所 L= 0.30 m × 28.00 箇所 = 8.40 m	m	8.40				

小型重力式擁壁計算書

市単独工事

測点	距離	床掘り		埋戻し(2)		コンクリート		型枠(前面)		型枠(背面)	
		断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)	高さ(m)	面積(m ²)	高さ(m)	面積(m ²)
自: No.39+17.0		1.9		1.1		0.64		1.11		1.23	
至: No.40	3.0	1.9	5.7	1.1	3.3	0.64	1.9	1.11	3.3	1.23	3.7
自: No.40		1.9		1.1		0.64		1.11		1.23	
至: No.40+10.0	10.0	2.1	20.0	1.2	11.5	0.72	6.8	1.20	11.6	1.34	12.9
自: No.40+10.0		2.1		1.2		0.72		1.20		1.34	
至: No.41	10.0	2.2	21.5	1.2	12.0	0.79	7.6	1.28	12.4	1.43	13.9
自: No.41		2.2		1.2		0.79		1.28		1.43	
至: No.41+10.0	10.0	2.2	22.0	1.2	12.0	0.79	7.9	1.28	12.8	1.43	14.3
自: No.41+10.0		2.2		1.2		0.79		1.28		1.43	
至: No.42	10.0	2.2	22.0	1.2	12.0	0.79	7.9	1.28	12.8	1.43	14.3
自: No.42		2.2		1.2		0.79		1.28		1.43	
至: No.42+6.9	6.9	2.2	15.2	1.2	8.3	0.81	5.5	1.29	8.9	1.44	9.9
自: No.42+6.9		2.2		1.2		0.81		1.29		1.44	
至: No.42+8.6	1.7	2.3	3.8	1.3	2.1	0.83	1.4	1.32	2.2	1.48	2.5
自: No.42+8.6		2.3		1.3		0.83		1.32		1.48	
至: No.42+12.1	3.5	2.4	8.2	1.3	4.6	0.89	3.0	1.38	4.7	1.54	5.3
自: No.42+12.1		2.0		1.3		0.89		1.38		1.54	
至: No.42+12.6	0.5	2.4	1.1	1.3	0.7	0.89	0.4	1.38	0.7	1.54	0.8
自:											
至:											
計	55.6		119.5		66.5		42.4		69.4		77.6

小型重力式擁壁計算書

市単独工事

測点	距離	均しコンクリート									
		断面積(m ²)	立積(m ³)								
自: No.39+17.0		0.11									
至: No.40	3.0	0.11	0.3								
自: No.40		0.11									
至: No.40+10.0	10.0	0.11	1.1								
自: No.40+10.0		0.11									
至: No.41	10.0	0.11	1.1								
自: No.41		0.11									
至: No.41+10.0	10.0	0.11	1.1								
自: No.41+10.0		0.11									
至: No.42	10.0	0.11	1.1								
自: No.42		0.11									
至: No.42+6.9	6.9	0.12	0.8								
自: No.42+6.9		0.12									
至: No.42+8.6	1.7	0.12	0.2								
自: No.42+8.6		0.12									
至: No.42+12.1	3.5	0.12	0.4								
自: No.42+12.1		0.12									
至: No.42+12.6	0.5	0.12	0.1								
自:											
至:											
計	55.6		6.2								

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	U字溝(1)			10.00m	細別	U字溝(2)			10.00m			
規格	鉄筋コンクリートU型排水溝 240×600			当り	規格	鉄筋コンクリートU型排水溝 240×600			当り			
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量	
U型側溝	鉄筋コンクリートU型排水溝 240×600					U型側溝	鉄筋コンクリートU型排水溝 240×600					
	L=	10.00	m	m	10.00		L=	10.00	m	m	10.00	
敷モルタル	1:3BB					敷モルタル	1:3BB					
	V=	0.24	m	×	0.03	m	V=	0.24	m	×	0.03	m
	×	10.00	m	=	0.07	m ³	×	10.00	m	=	0.07	m ³
				m ²	0.07					m ²	0.07	
						基礎碎石	RC-40					
	A=	0.42	m	×	10.00	m	A=	0.42	m	×	10.00	m
				=	4.20	m ²				=	4.20	m ²
				m ²	4.20					m ²	4.20	
						基面整正	RC-40					
	A=	0.42	m	×	10.00	m	A=	0.42	m	×	10.00	m
				=	4.20	m ²				=	4.20	m ²
				m ²	4.20					m ²	4.20	

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	門扉(2)	1.0箇所	細別	門扉(2)	1.0箇所		
規格	手動式 片開き H=1.4m	当り	規格	手動式 片開き H=1.4m	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
門扉(2)	スタックラインSR1型(レール含む) 手動式 片開き H=1400 ブラックつや消し・ステンレスカラー・ブロンズ N= 1.00 基	基	1.00	門扉支柱 基礎碎石	RC-40 A= 0.60 m × 0.60 m = 0.36 m ²	m ²	0.36
門扉 基礎コンクリート	18-8-40(BB) V= 5.50 m × 0.80 m × 0.20 m = 0.88 m ³	m ³	0.88	門扉支柱 基面整正	A= 0.60 m × 0.60 m = 0.36 m ²	m ²	0.36
門扉 基礎型枠	A= 5.50 m × 0.20 m × 2.00 箇所 = 2.20 m ² A= 0.80 m × 0.20 m × 1.00 箇所 = 0.16 m ² Σ A= 2.36 m ²	m	2.36				
門扉 基礎碎石	RC-40 A= 5.60 m × 1.00 m = 5.60 m ²	m ²	5.60				
門扉 基面整正	A= 5.60 m × 1.00 m = 5.60 m ²	m ²	5.60				
門扉支柱 基礎コンクリート	18-8-40(BB) V= 0.50 m × 0.50 m × 0.40 m = 0.10 m ³	m ³	0.10				
門扉支柱 基礎型枠	A= 0.40 m × 0.50 m × 4.00 箇所 = 0.80 m ²	m ²	0.80				

舗装仮復旧工計算書

補助対象工事

測点	距離	路盤(2)									
		幅(m)	面積(m2)	幅(m)	面積(m2)	断面積(m2)	立積(m3)	断面積(m2)	立積(m3)		
自: No.52+12.94		3.63									
至: No.52+19.34	6.4	3.63	23.2								
自: No.52+19.34		3.63									
至: No.53	0.7	3.63	2.5								
自: No.53		3.63									
至: No.54	20.0	3.49	71.2								
自: No.54		3.49									
至: No.55	20.0	3.36	68.5								
自: No.55		3.36									
至: No.56	20.0	3.22	65.8								
自: No.56		3.22									
至: No.56+16.54	16.5	4.15	60.8								
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
計	83.6		292.0								

令和5年度下工公補第1号
町屋第2雨水幹線築造工事

数量総括表
(市単独工事)

レベル1 : 函渠

レベル1 : 共通仮設

レベル1 : スクラップ評価額

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
掘進工 (オープンシールド工法)	函渠工 (2000mm×1800mm)	オープンシールド機費 (NoS I 型)	N= 1.0 式	式	1.0
			オープンシールド機費 N= 1.0 式	式	
	仮設備工	地中残置撤去 (NoS I 型)	購入品(ホルト、ナット、プレスパーゴム、ワイヤーブラシ等) N= 1.0 式	式	
			【地中残置撤去単位数量計算書】より N= 1.0 箇所	箇所	1.0
	特許実施料	特許実施料	掘進作業用道路(2) N= 1.0 式	式	1.0
			N= 1.0 式	式	1.0
	地下水位低下工	ウエルポイント(1)	内空断面積 掘進延長 特許費 3.52 m ² × 83.60 m × <input type="text"/> 円 = <input type="text"/> 円	円	
			常時排水 設置間隔@1.0m 【ウエルポイント(1)単位数量計算書】より N= 1.0 式	式	1.0
	ウエルポイント(2)	常時排水 設置間隔@1.0m 【ウエルポイント(2)単位数量計算書】より N= 1.0 式	式	1.0	

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量						
立坑工 (到達立坑)	付帯工	ウエルポイント埋設	常時排水 設置間隔@1.0m 【ウエルポイント埋設単位数量計算書】より N=	1.0 式	式	1.0					
		現場打集水柵	1600×3200×2700 【現場打集水柵単位数量計算書】より N=	1.00 箇所	箇所	1.00					
	管路土工	管路掘削(1)	土砂 【管路土留詳細図】より (A-A) V= 4.60 m2 × 5.50 m = 25.30 m3 (B-B) V= 2.20 m2 × 2.50 m = 5.50 m3 Σ V= 30.80 m3	m3	m3	30.8					
							管路埋戻(1)	RC-40 【管路土留詳細図】より W≤1.0m V= 1.40 m2 × 8.00 m = 11.20 m3	m3	m3	11.2
							発生土処理(1)	V= 30.80 m3 - 11.20 m3 / 0.90 = 18.36 m3	m3	m3	18.4
		水路築造工	L型水路(1)	3000×1300 【L型水路(1)単位数量計算書】より N=	1.0 式	式	1.0				

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
付帯工	管路土留工	L型水路(2)	3000×1200 【L型水路(1)単位数量計算書】より N=	1.0 式	式 1.0
		軽量鋼矢板土留(2)	掘削深 1.8m<H≤2.0m 【軽量鋼矢板土留(1)単位数量計算書】より N=	1.0 式	式 1.0
	付帯工	大型土のう	【大型土のう単位数量計算書】より 流用土、製作・設置・撤去、処分 N=	3.00 袋	袋 3.00
	舗装撤去工	舗装版切断	As版 15cm以下 東西路線 L= 3.50 m + 49.90 m + 3.50 m = 56.90 m 東西路線 L= 1.55 m + 91.65 m + 1.55 m = 94.75 m 南北路線 L= 3.60 m + 4.15 m = 7.75 m 東西路線(小型重力式擁壁施工時) L=	49.90 m Σ L= 209.30 m	m 209.30

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		舗装版破碎(1)	As版 20cm以下 【舗装撤去工計算書】より 南北路線 A= 520.60 m2 東西路線 A= 316.80 m2 <hr/> Σ A= 837.40 m2	m2	837.40
		舗装版破碎(2)	As版 20cm以下 【舗装撤去工計算書】より 東西路線(小型重力式擁壁施工時) A= 25.00 m2	m2	25.00
		殻運搬(1)	As殻 V= 837.40 m2 × 0.05 m = 41.87 m3	m3	41.9
		殻運搬(2)	As殻 V= 25.00 m2 × 0.05 m = 1.25 m3	m3	1.3
		殻処分	As殻 V= 41.87 m3 + 1.25 m3 = 43.12 m3	m3	43.1
	道路土工	床掘り	土砂 【道路土工計算書】より		

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		埋戻し(1)	<p>V= 38.40 m3</p> <p>【付帯土工定規図、駐輪場土工定規図】より</p> <p>V= 1.30 m2 × 0.60 m × 14.00 箇所 = 10.92 m3</p> <p>【付帯土工定規図、プレキャストU型側溝(2)土工定規図】より</p> <p>V= 0.55 m2 × 2.40 m × 3.00 箇所 = 3.96 m3</p> <p>【付帯土工定規図、U字溝(2)土工定規図】より</p> <p>V= 0.33 m2 × 75.50 m = 24.92 m3</p> <p>【付帯土工定規図、門扉(1)土工定規図】より</p> <p>V= 1.30 m2 × 0.40 m = 0.52 m3</p> <p>【付帯土工定規図、門扉(2)土工定規図】より</p> <p>V= 0.48 m2 × 5.60 m = 2.69 m3</p> <hr/> <p>Σ V= 81.41 m3</p>	m3	81.4
			<p>流用土</p> <p>【道路土工計算書】より</p> <p>V= 16.90 m3</p> <p>【付帯土工定規図、駐輪場土工定規図】より</p> <p>V= 0.72 m2 × 0.60 m × 14.00 箇所 = 6.05 m3</p> <p>【付帯土工定規図、門扉(1)土工定規図】より</p> <p>V= 0.84 m2 × 0.60 m = 0.50 m3</p> <p>【付帯土工定規図、門扉(2)土工定規図】より</p> <p>V= 0.24 m2 × 5.60 m = 1.34 m3</p> <hr/> <p>Σ V= 24.79 m3</p>	m3	24.8

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	管路土工	埋戻し(2)	RC-40 【付帯土工定規図、プレキャストU型側溝(2)】より $V = 0.26 \text{ m}^2 \times 2.40 \text{ m} \times 3.00 \text{ 箇所} = 1.87 \text{ m}^3$ 【付帯土工定規図、U字溝(2)土工定規図】より $V = 0.17 \text{ m}^2 \times 75.50 \text{ m} = 12.84 \text{ m}^3$ $\Sigma V = 14.71 \text{ m}^3$	m3	14.7
		残土等処分(2)	$V = 81.41 \text{ m}^3 - 24.79 \text{ m}^3 / 0.90 = 53.87 \text{ m}^3$	m3	53.9
		管路掘削	土砂 【付帯土工定規図、電気設備土工定規図】より $L = 14.00 \text{ m} + 3.00 \text{ m} + 5.50 \text{ m} = 22.50 \text{ m}$ $V = 0.20 \text{ m}^2 \times 22.50 \text{ m} = 4.50 \text{ m}^3$	m3	4.5
		管路埋戻	土砂 【付帯土工定規図、電気設備土工定規図】より $L = 14.00 \text{ m} + 3.00 \text{ m} + 5.50 \text{ m} = 22.50 \text{ m}$ $V = 0.08 \text{ m}^2 \times 22.50 \text{ m} = 1.80 \text{ m}^3$	m3	1.8
		発生土処理(2)	$V = 4.50 \text{ m}^3 - 1.80 \text{ m}^3 / 0.90 = 2.50 \text{ m}^3$	m3	2.5

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	管基礎工	砂基礎	管基礎用砂 【付帯土工定規図、電気設備土工定規図】より L= 14.00 m + 3.00 m + 5.50 m = 22.50 m V= 0.14 m ² × 22.50 m = 3.15 m ³	m ³	3.2
	舗装復旧工	不陸整正	補足材 RC-40 平均t=2cm 【舗装復旧工計算書】より 東西路線 A= 316.70 m ² 南北路線 A= 519.60 m ² Σ A= 836.30 m ²	m ²	836.3
	道路付属物撤去工	表層(2)	再生密粒度As(13) t=5cm 2,350kg/m ³ 【舗装復旧工計算書】より 東西路線 A= 631.40 m ² 南北路線 A= 519.60 m ² Σ A= 1151.00 m ²	m ²	1,151.0
		立入防止柵(1)撤去	再利用撤去 H=0.9m 【既設構造物・付帯工撤去平面図】より L= 18.00 m	m	18.0

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		立入防止柵(2)撤去	再利用撤去、H=1.5m 【既設構造物・付帯工撤去平面図】より L= 4.90 m	m	4.9
		立入防止柵(3)撤去	再利用撤去、H=1.8m 【既設構造物・付帯工撤去平面図】より L= 94.00 m	m	94.0
		仮囲い撤去	H=2.0m 【既設構造物・付帯工撤去平面図】より L= 111.50 m	m	111.5
		道路反射鏡撤去	再利用撤去 【既設構造物・付帯工撤去平面図】より N= 1.00 基	基	1.0
		道路橋撤去	【既設構造物・付帯工撤去平面図】より N= 1.00 箇所 H形鋼 150mm×150mm 31.1kg/m W= 3.50 m × 31.10 kg/m × 2.00 本 = 217.70 kg W= 217.70 kg / 1000 kg/t = 0.22 t	箇所	1.0
		現場監視カメラ撤去	【既設構造物・付帯工撤去平面図】より N= 1.00 基	基	1.0

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	道路付属物工	プレキャストU型側溝(1)	JIS型3種、300A、L=2.0m、リサイクル認定製品 【付帯工平面図、プレキャストU型側溝単位数量計算書】より L= 49.20 m + 29.00 m	m	78.2
		プレキャストU型側溝(2)	JIS型3種、300A、電柱よけ L=2.4m 【付帯工平面図、プレキャストU型側溝単位数量計算書】より N=	箇所	5.0
		側溝蓋(1)	JIS型3種、300用Co蓋、騒音防止ゴム付 N= 10.00 m / 0.50 m = 20.00 枚 ▲ 300用 Gr蓋、T-25、普通目、騒音防止機能付	枚	20.00
		側溝蓋(2)	300用 Gr蓋、T-25、普通目、騒音防止機能付 【付帯工平面図】より N= 10.00 m / 10.00 m/枚 = 1.00 枚	枚	1.0
		側溝蓋(3)	JIS型3種、300用Co蓋、騒音防止ゴム付 電柱よけ 【付帯工平面図】より N= 5.00 箇所 × 8.00 枚/箇所 = 40.00 枚	枚	40.0
		プレキャスト集水柵(1)	300A、T-25、普通目、110° 開閉式 【付帯工平面図、プレキャスト集水柵単位数量計算書】より PU柵同等品以上 N=	箇所	1.0
			Σ N=	枚	19.0

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		プレキャスト集水柵(2)	600×600×1600、T-25、普通目、110° 開閉式 【付帯工平面図、プレキャスト集水柵単位数量計算書】より AS柵同等品以上 N=	1.00 箇所	箇所 1.0
		既設水路閉塞	【付帯工平面図、既設水路閉塞単位数量計算書】より N=	1.0 式	式 1.0
		立入防止柵(1)復旧	H=0.9m 土中建込 【付帯工平面図】より 再利用設置 L=	18.00 m	m 18.0
		立入防止柵(2)復旧	H=1.5m 土中建込 【付帯工平面図】より 再利用設置 L=	4.90 m	m 4.9
		立入防止柵(5)	コンクリート建込 EN-A1800同等品以上 ロンググリーン 【付帯工平面図、立入防止柵(5)単位数量計算書】より L=	8.00 m	m 8.0
		門扉(1)	H1.80m×W1.00m EN片開き門扉 同等品以上 ロンググリーン 【付帯工平面図、門扉(1)単位数量計算書】より N=	1.00 箇所	箇所 1.0

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
	付属物工	車線分離標(1)	W800×H650 アンカー式(接着材含む) 【付帯工平面図】より N= 28.00 本 + 17.00 本 = 45.00 本	本	45.0	
		車線分離標(2)	H=650 アンカー式(接着材含む) 【付帯工平面図】より N= 56.00 本 + 34.00 本 = 90.00 本	本	90.00	
		道路反射鏡復旧	φ600mm 【付帯工平面図】より N=	1.00 箇所	箇所	1.00
		規制標識復旧	【付帯工平面図】より N=	1.00 箇所	箇所	1.00
		駐輪場復旧	【付帯工平面図・駐輪場復旧単位数量計算書】より N=	2.00 箇所	箇所	2.00
		駐輪場電気設備	【付帯工平面図・駐輪場電気設備単位数量計算書】より N=	1.0 式	式	1.0
		張コンクリート	【付帯工平面図】より 駐輪場復旧付近 A= 630.00 m2 到達立坑付近 A= 10.80 m2 Σ A= 640.80 m2	m2	m2	640.8

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	排水施設清掃工	スクリーン	【付帯工平面図】より 現場打集水柵 3150mm × 1150mm N=	1.00 箇所	箇所 1.00
		水路清掃	【付帯工平面図】より L=	5.00 m	m 5.0
	既設構造物撤去工	汚泥処分	V= 5.00 m × 2.45 m × 0.39 m = 4.78 m ³	m ³	m ³ 4.8
		既設水路取壊し	【既設水路取壊し単位数量計算書】より N=	1.0 式	式 1.0
		舗装版切断(2)	Co版 L=	18.00 m	m 18.0
		コンクリート構造物取壊し(1)	鉄筋構造物 張コンクリート 駐輪場復旧付近 V= 630.00 m ² × 0.10 m = 63.00 m ³ 到達立坑付近 V= 10.80 m ² × 0.10 m = 1.08 m ³ 既設側溝撤去(1) V= 0.02 m ² × 2.40 m = 0.05 m ³ 既設側溝撤去(1)	m ³	m ³

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		コンクリート構造物取壊し(2)	無筋構造物 道路橋基礎 V= 0.02 m2 × 4.80 m = 0.10 m3 Σ V= 64.23 m3 門扉基礎 V= 1.00 m2 × 3.50 m = 3.50 m3 門扉支柱基礎 V= 0.94 m2 × 0.80 m = 0.75 m3 鉄筋コンクリート柵板(柵板) V= 0.16 m2 × 0.50 m = 0.08 m3 鉄筋コンクリート柵板(杭) V= 0.06 m2 × 55.60 m = 3.34 m3 N= 55.60 m / 4.00 m × 3.00 本 - 1.00 本 = 40.70 本 ≒ 40.00 本 V= 0.17 m2 × 40.00 本 = 6.80 m3 Σ V= 14.47 m3	m3	64.2
		コンクリート取壊し運搬処理(1)	V=	m3	64.2
		コンクリート取壊し運搬処理(2)	V=	m3	14.5
		現場発生品運搬(1)	N=	式	1.0
			地中残地鋼材		
			W=	t	0.21
			立入防止柵撤去(3)		
			L=	m	94.00

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			W= 94.00 m × 11.80 kg/m = 1109.20 kg = 1.11 t 道路橋撤去 H形鋼 150mm×150mm 31.1kg/m W= 3.50 m × 31.10 kg/m × 2.00 本 = 217.70 kg W= 217.70 kg / 1,000 kg/t = 0.22 t Σ W= 1.54 t		
		現場発生品運搬(2)	N= 1.54 / 2.90 t = 0.53 ≙ 1.00 回 N= 1.0 式 土木シート W= 356.00 m ² × 0.11 kg/m ² = 39.16 kg 大型土のう袋 W= 3.00 袋 × 1.90 kg/袋 = 5.70 kg 仮排水 W= 33.50 m × 3.94 kg/m = 131.99 kg Σ W= 176.85 kg W= 176.85 kg / 1,000 kg/t = 0.18 t N= 0.18 / 2.90 t = 0.06 ≙ 1.00 回	式	1.0
		現場発生品運搬(3)	N= 1.0 式 現場から天神ポンプ場 単管ハリケート 単管 L=2.73kg/m W= 214.00 m × 2.73 kg/m ² = 584.22 kg 仮囲い	式	1.0

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
			単管 L=2.73kg/m 仮囲い 横単管 W= 115.00 m × 2.73 kg/m ² × 2.00 本 = 627.90 kg		
			仮囲い 縦単管 N= 115.00 m / 1.80 m/本 = 63.89 本 ≒ 64.00 本 L= 64.00 本 × 2.00 m = 128.00 m W= 128.00 m × 2.73 kg/m ² = 349.44 kg		
			仮囲い 控え単管 N= 115.00 m / 1.80 m/本 = 63.89 本 ≒ 64.00 本 L= 64.00 本 × 2.00 m = 128.00 m W= 128.00 m × 2.73 kg/m ² = 349.44 kg		
			仮囲い 打込単管 N= 115.00 m / 1.80 m/本 = 63.89 本 ≒ 64.00 本 L= 64.00 本 × 1.50 m × 2.00 本 = 192.00 m W= 192.00 m × 2.73 kg/m ² = 524.16 kg		
			仮囲い 控え単管 N= 115.00 m / 1.80 m/本 = 63.89 本 ≒ 64.00 本 L= 64.00 本 × 1.00 m = 64.00 m W= 64.00 m × 2.73 kg/m ² = 174.72 kg		
			仮囲い 成形鋼板 N= 115.00 m / 0.54 m/枚 = 212.96 枚 ≒ 213.00 枚		

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工	仮水路工	仮排水	W= 213.00 枚 × 12.10 kg/枚 = 2577.30 kg		
			Σ W= 4602.96 kg		
			W= 4602.96 kg / 1,000 kg/t = 4.60 t		
			N= 4.60 / 2.90 t = 1.59 ≒ 2.00 回		
雑工	作業ヤード整備工	作業ヤード整備	【付帯工平面図、仮排水単位数量計算書】より		
			N= 1.0 式	式	1.0
			【作業ヤード整備単位数量計算書】より		
			N= 1.0 式	式	1.0
雑工	電力設備工	高圧受電設備設置撤去	100kW以下		
			N= 1.00 箇所	箇所	1.0
			交通誘導警備員B		
			N= 1.0 式	式	1.0
雑工	雑工	止水プラグ	交通誘導警備員B		
			N= 68.0 人		
			止水プラグφ150		
			【付帯工平面図】より		
共通仮設	運搬費	仮設材等運搬費	N= 1.0 箇所	箇所	1.0
			往復 W=5.0t W=3.5t		
			N= 1.0 式	式	1.0
			軽量鋼矢板(1)		

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量						
スクラップ評価額	スクラップ評価額	事業損失防止施設費	W= 軽量鋼矢板(2)	3.92 t	式	1.0					
			W= 井戸養生敷鉄板	1.36 t							
			W=	0.58 t							
			Σ W=	5.86 t							
		技術管理費	仮設材等積込み取卸し	往復 W=5.9t		式	1.0				
				N=	1.0 式						
				家屋調査費	非木造A 200m2未満 1箇所				式	1.0	
					技術経費・諸経費等含む			N= 1.0 式			
				電力基本料金	借地料			高压電力A 臨時契約		式	1.0
								N=	1.0 式		
資産使用料	土質等試験費	【借地料単位数量計算書】より		式	1.0						
		N=	1.0 式								
		コーン指数調査		式 試料	1.0						
		N=	1.0								
		N=	1.00								

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		スクラップ控除	H3 地中残地鋼材 W= 0.21 t 道路橋撤去 W= 0.22 t <hr/> Σ W= 0.43 t	t	0.4

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	地中残置撤去			1.00箇所	細別	地中残置既設水路擦付撤去			1.00箇所		
規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)			当り	規格	裏込注入タイプ(NoS I 型)			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
地中残置 撤去	裏込注入タイプ(NoS I 型) N= 1.00 箇所			箇所	1.00	暗渠 排水管撤去	φ 300 L= 3.50 m × 3.00 本 = 10.50 m			m	10.50
地中 残置既設水路 擦付撤去	裏込注入タイプ(NoS I 型) 【地中残置既設水路擦付撤去】 N= 1.00 箇所			箇所	1.00	暗渠 排水管処分	φ 300 L= 3.50 m × 3.00 本 = 10.50 m W= 10.50 m × 13.70 kg/m = 143.85 kg / 1000 = 0.14 t			t	0.14
地中 残置鋼材撤去	W= 0.21 t 掘進機地中残置鋼材、L=2524 C-200×90×8×13.5、0.030t/m W= 2.524 m × 0.030 m × 1.000 = 0.08 t 掘進機地中残置鋼材、L=2100×2 C-200×90×8×13.5、0.030t/m W= 2.100 m × 0.030 m × 2.000 = 0.13 t Σ W= 0.21 t			t	0.21	※土砂掘削については、掘進手間に含む。					

単位数計算書

市単独工事

細別	掘進作業用道路(2)			1.0式	細別	掘進作業用道路(2)			1.0式			
規格	t=22mm			当り	規格	t=22mm			当り			
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量	
敷鉄板設置	水路築造側					掘進 作業用道路 敷鉄板賃料	N=	1.0	式	式	1.0	
	施工済み延長						敷鉄板					
	第1工区	第2工区			敷鉄板使用枚数							
	L= 105.19 m	+ 214.01 m	= 319.20 m		A= 819.09 m ² / (1.524 m							
					× 3.024 m)	= 177.73 枚						
						≒ 178.00 枚						
						使用日数						
						使用枚数	178.00	枚				
						日当り賃貸料金		円/枚・日				
						賃貸料金						
						使用日数 × 使用枚数 × 日当り賃貸料金						
							× 178.00 ×					
							= 102,901					
						敷鉄板使用枚数						
						A= 30.00 m ² / (1.524 m						
						× 3.024 m)	= 6.51 枚					
							≒ 7.00 枚					
						整備費						
						使用日数 × 使用枚数 × 日当り賃貸料金						
							× 7.00 ×					
							= 72,051					
						敷鉄板賃料						
						整備費						
						102,901 + 72,051	= 174,952	円				
既設水路 支保	パイプサポート支保工 H<4m 40KN/m ² 以下											
	V= 10.00 m	× 3.00 m										
	× 1.00 m		= 30.00 空m ³	空m ³	30.0							

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	ウエルポイント(1)			1.0式	細別	ウエルポイント(1)			1.0式				
規格	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水			当り	規格	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水			当り				
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量		
ウエルポイント 設置	N=	77.0	本	本	77.00	ウエルポイント ホンブ損料 供用1ヶ月当り	ウエルポイント・ホンブ・ヘッダー-供用日数より N=	<input type="text"/>	日	日			
ウエルポイント 撤去	N=	77.0	本	本	77.00	ウエルポイント ホンブ損料 1現場当り	N=	1.00	組	組	1.00		
ウエルポイント ホンブ 設置撤去	N=	77.00	m /	100	m/組 = 0.77 ≒ 1.00	組	組				1.00		
ウエルポイント ホンブ運転管理	N=	<input type="text"/>	日	日		ウエルポイント 損料 供用1ヶ月当り	ウエルポイント・ホンブ・ヘッダー-供用日数より N=	<input type="text"/>	日				
ウエルポイント 損料	N=	1.0	式	式	1.0	ウエルポイント 損料 1現場当り	ウエルポイント設置より N= 77.00	本 /	1.00	m/本 = 77.00	本	本	77.00
ジェット装置 損料	N=	1.0	式	式	1.0	ヘッダーライン 損料 供用1ヶ月当り	ウエルポイント・ホンブ・ヘッダー-供用日数より N=	<input type="text"/>	日				
						ヘッダーライン 損料 1現場当り	L= 77.00	m /	1.0	m = 77	m	m	77

単位数計算書

市単独工事

細別	ウエルポイント(1)		1.0式	細別					
規格	設置間隔 1.0m ポンプ1台 常時排水		当り	規格					
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
ウエルポイントポンプ 供用1ヶ月当り	使用組数 1.00	× 供用日数 []	=	[] 日					
ウエルポイント 供用1ヶ月当り	使用本数 77.00	× 供用日数 []	=	[] 日					
ヘッダー供用 供用1ヶ月当り	使用延長 77.00	× 供用日数 []	=	[] 日					
ジェット装置 供用1日当り	ウエルポイント 設置日数 []	× 不稼働係数 1.70	=	[] 日					

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	ウエルポイント(2)			1.0式	細別	ウエルポイント(2)			1.0式		
規格	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水			当り	規格	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
ウエルポイント 設置	N=	94.00	本	本	94.00	ウエルポイント ホンブ損料 供用1ヶ月当り	ウエルポイント・ホンブ・ヘッダー供用日数より N=	<input type="text"/>	日	日	
ウエルポイント 撤去	N=	94.00	本	本	94.00	ウエルポイント ホンブ損料 1現場当り	N=	1.00	組	組	1.00
ウエルポイント ホンブ 設置撤去	N=	94.00 m / 100.00 m/組 = 0.94 ≒ 1.00	組	組	1.00	ウエルポイント・ホンブ・ヘッダー供用日数より N=	<input type="text"/>	日			
ウエルポイント ホンブ運転管理	N=	<input type="text"/>	日	日		ウエルポイント 損料 1現場当り	ウエルポイント設置より N= 94.00 本 / 1.00 m/本 = 94.00	本	本	本	94.00
ウエルポイント 損料	N=	1.0	式	式	1.0	ヘッダーライン 損料 供用1ヶ月当り	ウエルポイント・ホンブ・ヘッダー供用日数より N=	<input type="text"/>	日		
ジェット装置 損料	N=	1.0	式	式	1.0	ヘッダーライン 損料 1現場当り	L= 94.00 m / 1.00 m = 94.00	m	m	m	94.00

単位数計算書

市単独工事

細別	ウエルポイント(2)		1.0式	細別					
規格	設置間隔 1.0m ポンプ1台 常時排水		当り	規格					
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
ウエルポイントポンプ 供用1ヶ月当り	使用組数 1.00	× 供用日数 []	=	[] 日					
ウエルポイント 供用1ヶ月当り	使用本数 94.00	× 供用日数 []	=	[] 日					
ヘッド-供用 供用1ヶ月当り	使用延長 94.00	× 供用日数 []	=	[] 日					
ジェット装置 供用1日当り	ウエルポイント 設置日数 []	× 不稼働係数 1.70	=	[] 日					

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	ウエルポイント埋設			1.0式	細別	ウエルポイント埋設			10.0m		
規格	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水			当り	規格	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
ウエルポイント埋設	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水 L= 94.00 m			m	94.00	舗装版切断	As版 t=15cm以下 L= 10.00 m			m	10.00
						舗装版破碎(2)	As版 t=20cm以下 A= 0.50 m × 10.00 m = 5.00 m ²			m ²	5.00
						殻運搬(2)	As殻 V= 5.00 m ² × 0.05 m = 0.25 m ³			m ³	0.25
						殻処分	As殻 V= 5.00 m ² × 0.05 m = 0.25 m ³			m ³	0.25
						床掘り	V= (0.715 m - 0.05 m) × 0.50 m × 10.00 m = 3.33 m ³			m ³	3.33
						埋戻し(1)	流用土 V= ((0.715 m - 0.05 m) × 0.50 m - (0.165 × 0.165 × π / 4.00)) × 10.00 m = 3.11 m ³			m ³	3.11

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	ウエルポイント埋設	10.0m	細別				
規格	設置間隔 1.0m ホンブ1台 常時排水	当り	規格				
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
管路埋戻材料	RC-40 V= 3.11 m ³ / 0.90 - 3.33 m ³ = 0.13 m ³ V= 0.13 m ³ × 1.2 = 0.16 m ³	m ³	0.16				
表層(1)	再生密粒度As(13) t=5cm 2,350kg/m ³ A= 0.50 m × 10.00 m = 5.00 m ²	m ²	5.00				
床掘り	土砂 V= ((0.765 m - 0.05 m) × 0.50 m - (0.165 × 0.165 × π / 4.00)) × 10.00 m = 3.36 m ³	m ³	3.36				
残土等処分(2)	V= 3.36 m ³	m ³	3.36				
埋戻し(2)	V= (0.765 m - 0.25 m) × 0.50 m × 10.00 m = 2.58 m ³	m ³	2.58				
路盤(2)	RC-40、t=20cm A= 0.50 m × 10.00 m = 5.00 m ²	m ²	5.00				

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	軽量鋼矢板土留(1)	1.0式	細別	軽量鋼矢板土留(1)	1.0式		
規格	掘削深 3.5m<H≤3.8m	当り	規格	掘削深 3.5m<H≤3.8m	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
軽量鋼矢板 建込・引抜(1)	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m (両側) L= 8.00 m	m	8.00	支保材 設置・撤去 4段	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m (両側) L= 5.00 m + 8.00 m = 13.00 m	m	13.00
軽量鋼矢板 建込・引抜(2)	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m (片側) L= 5.00 m + 1.00 m + 1.00 m = 7.00 m 使用重量 L= 8.00 m × 2.00 箇所 = 16.00 m L= 16.00 m + 7.00 m = 23.00 m N= 23.00 m / 0.333 m/枚 = 69.07 枚 ≒ 69.00 枚 W= 69.00 枚 × 4.00 m × 0.0142 t/m = 3.92 t	m	7.00	支保材 賃料	使用数量①210mm×230mm×5500mm～8000mm マンホール土留 N= 2 本 × 4 段 = 8 本 使用数量②210mm×230mm×4050mm～5100mm マンホール土留 N= 2 本 × 4 段 = 8 本 賃料 供用日数 × 賃料①+② × 使用数量 [] × [] × 8.00 = 498,456 工具 供用日数 × 賃料 = 使用数量 [] × [] × 16.00 = 19,320 Σ = 517,776	m	
軽量鋼矢板 賃料	掘削深 3.5m<H≤3.8m 矢板長 L=4.0m 賃料 供用日数 × 賃料 × 使用重量 [] × [] × 3.92 = 8,015 整備費 整備費 × 係数 = 使用重量 [] × 2.75 × 3.92 = 59,290 Σ = 67,305						

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	現場打集水桝	1.0箇所	細別	現場打集水桝	1.0箇所		
規格	1.6m × 3.2m × 2.7m	当り	規格	1.6m × 3.2m × 2.7m	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
プレキャスト床版	<p>【現場打集水桝詳細図】より</p> <p>プレキャスト床版 2000mm × 3600mm × 200mm</p> <p>N= 1.00 箇所</p>	箇所	1.00	L型水路接続部	<p>▲ V= 3.00 m × 1.05 m</p> <p>× 0.20 m = 0.63 m3</p> <p>Σ V= 6.07 m3</p>	m3	6.07
人孔鉄蓋及び受枠	<p>人孔鉄蓋及び受枠</p> <p>落防止用梯子津市市章入ロック付き(ステンレス製)</p> <p>T-25、雨水用</p> <p>N= 1.00 組</p>	組	1.00	型枠	<p>A= 3.60 m × 2.95 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 21.24 m2</p> <p>A= 3.20 m × 2.70 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 17.28 m2</p> <p>A= 2.00 m × 2.95 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 11.80 m2</p> <p>A= 2.00 m × 2.70 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 10.80 m2</p>		
調整リング	<p>600mm × 50mm</p> <p>N= 1.00 組</p>	組	1.00	プレキャストボックス接続部	<p>A= 1.80 m × 0.20 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 0.72 m2</p> <p>A= 2.00 m × 0.20 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 0.80 m2</p>		
無収縮早強性モルタル	<p>モルタル調整高 h=30mm 25.0kg/袋</p> <p>N= 30 mm / 40 mm/袋</p> <p>= 0.75 袋 = 1.00 袋</p>	袋	1.00	L型水路接続部	<p>A= 3.00 m × 0.20 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 1.20 m2</p> <p>A= 1.05 m × 0.20 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 0.42 m2</p>		
コンクリート	<p>24-12-25(BB)</p> <p>V= 2.00 m × 3.60 m</p> <p>× 2.95 m = 21.24 m3</p> <p>内空</p> <p>▲ V= 1.60 m × 3.20 m</p> <p>× 2.70 m = 13.82 m3</p> <p>プレキャストボックス接続部</p> <p>▲ V= 1.80 m × 2.00 m</p> <p>× 0.20 m = 0.72 m3</p>			プレキャストボックス接続部	<p>▲ A= 1.80 m × 2.00 m</p> <p>× 2.00 箇所 = 7.20 m2</p>		

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	現場打集水桝	1.0箇所	細別	現場打集水桝	1.0箇所		
規格	1.6m×3.2m×2.7m	当り	規格	1.6m×3.2m×2.7m	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
足掛金物	L型水路接続部 ▲ A= 3.00 m × 1.05 m × 2.00 箇所 = 6.30 m2 Σ A= 50.76 m2	m2	50.76	栗石	5cm~15cm A= 3.80 m × 2.20 m = 8.36 m2	m2	8.36
	現場打ち用 φ19mm×300mm N= 7.00 本	本	7.00	基面整正	A= 3.80 m × 2.20 m = 8.36 m2	m2	8.36
鉄筋(1)	【現場打集水桝詳細図】より SD345 D16~D25 W= 100.60 kg + 414.00 kg = 514.60 kg	kg	514.60	足場	手摺先行型枠組足場 H≤30m A= 3.00 m × 3.15 m = 9.45 掛m2	掛m2	9.45
インパートコンクリート	18-8-25(BB) V= 3.20 m × 1.60 m × 0.082 m = 0.42 m3	m3	0.42				
均しコンクリート	18-8-40(BB) V= 3.80 m × 2.20 m × 0.15 m = 1.25 m3	m3	1.25				
型枠	A= 3.80 m × 2.00 箇所 × 0.15 m = 1.14 m2 A= 2.20 m × 2.00 箇所 × 0.15 m = 0.66 m2 Σ A= 1.80 m2	m2	1.80				

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	大型土のう	10.00袋	細別				
規格	流用土	当り	規格		当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
大型土のう	流用土 製作・設置 N= 10.00 袋	袋	10.00				
大型土のう	流用土 撤去 N= 10.00 袋	袋	10.00				
残土等処分(1)	土砂 V= 10.00 袋 / 1.33 = 7.52 m3	m3	7.52				
大型土のう 処分費	V= 10.00 袋 × 1.90 kg/袋 = 19.00 kg / 1000 = 0.019 t	t	0.02				

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	L型水路(1)			1.0式	細別	L型水路(1)			1.0式		
規格	3.0m × 1.3m			当り	規格	3.0m × 1.3m			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
プレキャスト L型水路(1)	3000 × 1300	両側				底版 コンクリート	24-12-25(BB)				
	L= 4.00 m × 2						V= 2.00 m × 4.00 m				
	= 8.00 m		m		8.00		× 0.14 m = 1.12 m3	m3		1.12	
敷モルタル	1:3(BB)					鉄筋(3)	【L型水路詳細図】より				
	V= 0.60 m × 2.00 m						SD345 D13				
	× 0.02 m × 4.00 箇所				0.10		W= 147.50 kg	kg		147.50	
	= 0.10 m3		m3		0.10						
基礎 コンクリート	18-8-40(BB)					吸出防止材	A= 0.15 m × 0.15 m				
	V= 3.40 m × 4.00 m						× 4.00 箇所 = 0.09 m2	m2		0.09	
	× 0.10 m = 1.36 m3		m3		1.36						
型枠	A= 4.00 m × 0.10 m					硬質塩ビ管	VUφ50mm				
	× 2.00 箇所 = 0.80 m2						L= 0.10 m × 4.00 箇所				
	A= 3.40 m × 0.10 m						= 0.40 m	m		0.40	
	× 1.00 箇所 = 0.34 m2										
	Σ A= 1.14 m2		m2		1.14	インハート コンクリート	18-8-25(BB)				
							h= (0.150 m + 0.05 m)				
							/ 2.00 = 0.10 m				
栗石	5~15cm						V= 2.91 m × 0.10 m				
	V= 3.40 m × 4.00 m						× 4.00 m = 1.16 m3	m3		1.16	
	× 0.15 m = 2.04 m3		m3		2.04	樹脂発泡体 10mm 15倍	A= 1.34 m × 0.10 m				
							× 2.00 箇所 = 0.27 m2	m2			
基面修正	A= 3.40 m × 4.00 m						A= 0.14 m × 3.20 m				
	= 13.60 m2		m2		13.60		= 0.45 m2	m2			
							A= 0.12 m × 0.12 m				
							= 0.01 m2	m2			
							Σ A= 0.73 m2	m2		0.73	

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	L型水路(2)			1.0式	細別	L型水路(2)			1.0式		
規格	3.0m × 1.2m			当り	規格	3.0m × 1.2m			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
プレキャスト L型水路(2)	3000 × 1200	両側				底版 コンクリート	24-12-25(BB)				
	L= 4.00 m × 2						V= 2.00 m × 4.00 m				
	= 8.00 m		m	m	8.00		× 0.14 m = 1.12 m3	m3	m3	1.12	
敷モルタル	1:3(BB)					鉄筋(3)	【L型水路詳細図】より				
	V= 0.60 m × 2.00 m						SD345 D13				
	× 0.02 m × 4.00 箇所						W= 147.50 kg	kg	kg	147.50	
	= 0.10 m3		m3	m3	0.10						
基礎 コンクリート	18-8-40(BB)					吸出防止材	A= 0.15 m × 0.15 m				
	V= 3.40 m × 4.00 m						× 4.00 箇所 = 0.09 m2	m2	m2	0.09	
	× 0.10 m = 1.36 m3		m3	m3	1.36						
型枠	A= 4.00 m × 0.10 m					硬質塩ビ管	VU φ 50mm				
	× 2.00 箇所 = 0.80 m2						L= 0.10 m × 4.00 箇所				
	A= 3.40 m × 0.10 m						= 0.40 m	m	m	0.40	
	× 1.00 箇所 = 0.34 m2										
	Σ A= 1.14 m2		m2	m2	1.14	インハート コンクリート	18-8-25(BB)				
							h= (0.050 m + 0.15 m)				
							/ 2.00 = 0.10 m				
栗石	5~15cm						V= 2.91 m × 0.10 m				
	V= 3.40 m × 4.00 m						× 4.00 m = 1.16 m3	m3	m3	1.16	
	× 0.15 m = 2.04 m3		m3	m3	2.04						
基面整正	A= 3.40 m × 4.00 m										
	= 13.60 m2		m2	m2	13.60						

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	軽量鋼矢板土留(2)	1.0式	細別	軽量鋼矢板土留(2)	1.0式		
規格	掘削深 1.8m<H≤2.0m	当り	規格	掘削深 1.8m<H≤2.0m	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
軽量鋼矢板 建込・引抜(3)	掘削深 1.8m<H≤2.0m (両側) L= 4.00 m + 4.00 m = 8.00 m 使用重量 L= 8.00 m × 2.00 箇所 = 16.00 m N= 16.00 m / 0.333 m/枚 = 48.05 枚 ≒ 48.00 枚 W= 48.00 枚 × 2.00 m × 0.0142 t/m = 1.36 t	m	8.00		L= 4.00 m + 4.00 m = 8.00 m 使用数量 110mm×130mm×4000mm 腹起こし N= 4 本 × 1 段 = 4 本 使用数量 3420mm~3940mm サホ ^o -ト N= 4 本 × 1 段 = 4 本	m	8.00
軽量鋼矢板 賃料	掘削深 1.8m<H≤2.0m 矢板長 2.0m N= 1.0 式 賃料 供用日数 × 賃料 × 使用重量 [] × [] × 1.36 = [1,883] 整備費 整備費 × 係数 = 使用重量 [] × [2.75] × 1.36 = [20,570] Σ = [22,453]	式	1.0	支保材 腹起こし 賃料 供用日数 × 賃料 × 使用数量 [] × [] × 4.00 = [2,965] 基本料 基本料 × 使用数量 [] × 4.00 = [2,000] Σ = [4,965]	式	1.0	1.0
支保材 設置・撤去(2) アルミキア式	掘削深 1.8m<H≤2.0m 矢板長 2.0m 施工延長			支保材 サホ ^o -ト 賃料 供用日数 × 賃料 × 使用数量 [] × [] × 4.00 = [14,170] 基本料 基本料 × 使用数量 [] × 4.00 = [4,000] Σ = [18,170]	式	1.0	1.0

舗装撤去工計算書

東西路線

市単独工事

測点	距離	舗装版破碎(1)		舗装版破碎(2)							
		幅(m)	面積(m ²)	幅(m)	面積(m ²)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)		
自: No.39+17.0	3.0	3.50		0.50							
至: No.40		3.50	10.5	0.50	1.5						
自: No.40	20.0	3.50		0.50							
至: No.41		3.50	70.0	0.50	10.0						
自: No.41	20.0	3.50		0.50							
至: No.42		3.50	70.0	0.50	10.0						
自: No.42	6.9	3.50		0.50							
至: No.42+6.9		3.50	24.2	0.50	3.5						
自:											
至:											
自: No.52+12.90	7.10	1.55									
至: No.53		1.55	11.0								
自: No.53	20.0	1.55									
至: No.54		1.55	31.0								
自: No.54	20.0	1.55									
至: No.55		1.55	31.0								
自: No.55	20.0	1.55									
至: No.56		1.55	31.0								
自: No.56	20.0	1.55									
至: No.57		1.55	31.0								
計	137.0		309.7		25.0						

舗装撤去工計算書

東西路線

市単独工事

測点	距離	舗装版破碎(1)									
		幅(m)	面積(m ²)	幅(m)	面積(m ²)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)		
自: No.57		1.55									
至: No.57+4.55	4.55	1.55	7.1								
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
計	4.55		7.1								
合計	141.55		316.8								

舗装撤去工計算書

南北路線

市単独工事

測点	距離	舗装版破碎(1)									
		幅(m)	面積(m ²)	幅(m)	面積(m ²)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)		
自: No.0		4.15									
至: No.1	20.0	4.20	83.5								
自: No.1		4.20									
至: No.2	20.0	4.25	84.5								
自: No.2		4.25									
至: No.3	20.0	4.35	86.0								
自: No.3		4.35									
至: No.4	20.0	4.60	89.5								
自: No.4		4.60									
至: No.4+9.0	9.0	4.30	40.1								
自: No.4+9.0(同所)		4.60									
至: No.4+9.9	0.90	4.60	4.1								
自: No.4+9.9(同所)		4.00									
至: No.5	10.1	4.00	40.4								
自: No.5		4.00									
至: No.6	20.0	3.90	79.0								
自: No.6		3.90									
至: No.6+3.6	3.6	3.60	13.5								
自:											
至:											
計	123.6		520.6								

道路土工計算書

市単独工事

測点	距離	床掘り		埋戻し(1)							
		断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)				
自: No.52+12.94		0.41		0.18							
至: No.53	7.0	0.41	2.9	0.18	1.3						
自: No.53		0.41		0.18							
至: No.54	20.0	0.41	8.2	0.18	3.6						
自: No.54		0.41		0.18							
至: No.55	20.0	0.41	8.2	0.18	3.6						
自: No.55		0.41		0.18							
至: No.56	20.0	0.41	8.2	0.18	3.6						
自: No.56		0.41		0.18							
至: No.57	20.0	0.41	8.2	0.18	3.6						
自: No.57		0.41		0.18							
至: No.57+6.5	6.5	0.41	2.7	0.18	1.2						
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
計	93.5		38.4		16.9						

舗装復旧工計算書

東西路線

市単独工事

測点	距離	不陸整正		表層(2)							
		幅(m)	面積(m2)	幅(m)	面積(m2)	断面積(m2)	立積(m3)	断面積(m2)	立積(m3)		
自: No.39+17.0	3.0	3.50		4.00							
至: No.40		3.50	10.5	4.00	12.0						
自: No.40	20.0	3.50		4.00							
至: No.41		3.50	70.0	4.00	80.0						
自: No.41	20.0	3.50		4.00							
至: No.42		3.50	70.0	4.00	80.0						
自: No.42	6.9	3.50		4.00							
至: No.42+6.9		3.50	24.2	4.00	27.6						
自:											
至:											
自: No.52+12.90	7.10	1.55		4.80							
至: No.53		1.55	11.0	4.80	34.1						
自: No.53	20.0	1.55		4.80							
至: No.54		1.55	31.0	5.00	98.0						
自: No.54	20.0	1.55		5.00							
至: No.55		1.55	31.0	4.90	99.0						
自: No.55	20.0	1.55		4.90							
至: No.56		1.55	31.0	5.40	103.0						
自: No.56	15.5	1.55		5.40							
至: No.56+15.54		1.55	24.0	5.40	83.7						
計	132.5		302.7		617.4						

舗装復旧工計算書

東西路線

市単独工事

測点	距離	不陸整正		表層(2)							
		幅(m)	面積(m ²)	幅(m)	面積(m ²)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)		
自: No.56+15.54(同所)	4.45	1.55		1.55							
至: No.57		1.55	6.9	1.55	6.9						
自: No.57	4.6	1.55		1.55							
至: No.57+4.55		1.55	7.1	1.55	7.1						
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
自:											
至:											
計	9.0		14.0		14.0						
合計	141.5		316.7		631.4						

舗装復旧工計算書

南北路線

市単独工事

測点	距離	不陸整正		表層(2)							
		幅(m)	面積(m ²)	幅(m)	面積(m ²)	断面積(m ²)	立積(m ³)	断面積(m ²)	立積(m ³)		
自: No.0		4.15		4.15							
至: No.1	20.0	4.20	83.5	4.20	83.5						
自: No.1		4.20		4.20							
至: No.2	20.0	4.25	84.5	4.25	84.5						
自: No.2		4.25		4.25							
至: No.3	20.0	4.35	86.0	4.35	86.0						
自: No.3		4.35		4.35							
至: No.4	20.0	4.60	89.5	4.60	89.5						
自: No.4		4.60		4.60							
至: No.4+9.0	9.0	4.30	40.1	4.30	40.1						
自: No.4+9.0(同所)		4.60		4.60							
至: No.4+9.9	0.90	4.60	4.1	4.60	4.1						
自: No.4+9.9(同所)		4.00		4.00							
至: No.5	10.1	4.00	40.4	4.00	40.4						
自: No.5		3.90		3.90							
至: No.6	20.0	3.90	78.0	3.90	78.0						
自: No.6		3.90		3.90							
至: No.6+3.6	3.6	3.60	13.5	3.60	13.5						
自:											
至:											
計	123.6		519.6		519.6						

単位数計算書

市単独工事

細別	プレキャストU型側溝(1)			10.00m	細別	プレキャストU型側溝(2)			10.00箇所		
規格	JIS型3種、300A、L=2.0m			当り	規格	JIS型3種、300A、電柱除け			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
プレキャストU型側溝(1)	JIS型3種、300A、L=2.0m、リサイクル認定製品 L= 10.00 m			m	10.00	プレキャストU型側溝(2)	JIS型3種、300A、電柱除け、リサイクル認定製品 N= 10.00 箇所			箇所	10.00
敷モルタル	1:3BB V= 0.36 m × 0.03 m × 10.00 m = 0.11 m ³			m ³	0.11	敷モルタル	1:3BB L= 10.00 箇所 × 2.80 m/箇所 = 28.00 m N= 10.00 箇所 × 4.00 本/箇所 = 40.00 本 V= 0.36 m × 2.80 m × 10.00 箇所 × 0.03 m = 0.30 m ³			m ³	0.30
						基礎碎石	RC-40 A= 0.46 m × 2.80 m × 10.00 箇所 = 12.88 m ²			m ²	12.88
						基面整正	A= 0.46 m × 2.80 m × 10.00 箇所 = 12.88 m ²			m ²	12.88

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	プレキャスト集水枡(1)			10.00箇所	細別	プレキャスト集水枡(2)			10.00箇所		
規格	300A、T-25、普通目、110° 開閉式			当り	規格	600×600×1600、T-25、普通目、110° 開閉式			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
プレキャスト 集水枡(1)	300A、T-25、普通目、110° 開閉式 Pu枡同等品以上 N= 10.00 基			基	10.00	プレキャスト 集水枡(2)	600×600×1600、T-25、普通目、110° 開閉式 As枡同等品以上 足掛金物 W=300 4個含む N= 10.00 基			基	10.00
インパート コンクリート	18-8-25(BB) V= 0.30 m × 0.30 m × 0.05 m × 10.00 基 = 0.05 m3			m3	0.05	インパート コンクリート	18-8-25(BB) V= 0.60 m × 0.60 m × 0.05 m × 10.00 基 = 0.18 m3			m3	0.18
						栗石	5~15cm A= 0.93 m × 0.93 m × 10.00 基 = 8.65 m2			m2	8.65
						基面整正	A= 0.93 m × 0.93 m × 10.00 基 = 8.65 m2			m2	8.65

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	既設水路閉塞	1.0式	細別				
規格	18-8-40(BB)	当り	規格				
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
コンクリート	水路底版部 $L = (3.40 \text{ m} + 4.90 \text{ m}) / 2 = 4.15 \text{ m}$ $V = 2.45 \text{ m} \times 0.39 \text{ m} \times 4.15 \text{ 基} = 3.97 \text{ m}^3$ 水路側壁部 $V = (0.30 \text{ m} + 0.97 \text{ m}) / 2 \times 1.34 \text{ m} \times 4.90 \text{ m} = 4.17 \text{ m}^3$ $\Sigma V = 8.14 \text{ m}^3$	m3	8.14				
型枠	$A = 1.34 \text{ m} \times 1.118 \times 4.90 \text{ m} \times 1.00 \text{ 箇所} = 7.34 \text{ m}^2$ $A = 1.00 \text{ m} \times 4.90 \text{ m} \times 1.00 \text{ 箇所} = 4.90 \text{ m}^2$ $A = 0.39 \text{ m} \times 0.49 \text{ m} \times 1.00 \text{ 箇所} = 0.19 \text{ m}^2$ $\Sigma A = 12.43 \text{ m}^2$	m2	12.43				
暗渠排水管	波状管φ500 シングル $L = 10.00 \text{ m}$	m	10.00				

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	立入防止柵(5)			10.0m	細別	門扉(1)			10.0箇所		
規格	H=1.8m コンクリート建込			当り	規格	H=1.8m×W1.0m			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
立入防止柵(5)	EN-A1800同等品以上 ロンググリーン L= 10.00 m			m	10.00	門扉(1)	EN片開き門扉 H=1800×W1000同等品以上 ロンググリーン N= 10.00 基			基	10.00
基礎ブロック	250×250×500 N= 6.00 個			個	6.00	基礎ブロック	400×400×600 N= 20.00 個			個	20.00
基面整正	A= 0.25 m × 0.25 m × 6.00 箇所 = 0.38 m2			m2	0.38	基面整正	A= 0.40 m × 0.40 m × 2.00 個 × 10.00 箇所 = 3.20 m2			m2	3.20

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	規制標識復旧			10.0基	細別					
規格	再利用設置			当り	規格					
名称	算式			単位	数量	名称	算式		単位	数量
規制標識	再利用									
	N=	10.00	基	基	10.00					
規制標識支柱	再利用									
	N=	10.00	本	本	10.00					
コンクリート	18-8-40(BB)									
	V=	0.30	m	×	0.30	m				
	×	0.40	m	×	10.00	箇所				
				=	0.36	m3	m3			0.36
型枠	A=									
	×	0.30	m	×	0.40	m				
	×	4.00	箇所	×	10.00	箇所				
				=	4.80	m2	m2			4.80

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	駐輪場復旧			1.0箇所	細別	駐輪場電気設備			1.0式		
規格	基本棟 YOKC-280SA、追加棟 YOKC-280SA			当り	規格	FEP φ30mm			当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
駐輪場(1)	【付帯工工法図(2)】より 基本棟 YOKC-280SA N= 1.00 棟			棟	1.00	地中配管	FEP φ30mm L= 14.00 m × 2.00 線 = 28.00 m				
駐輪場(2)	【付帯工工法図(2)】より 追加棟 YOKC-280SA N= 5.00 棟			棟	5.00		L= 28.00 m + 5.50 m + 3.00 m = 36.50 m			m	36.50
基礎ブロック	【付帯工工法図(2)】より 600×600×380 N= 14.00 個			個	14.00	フルボックス 設置	200mm×200mm×150mm N= 2.00 個			個	2.00
基礎ブロック	【付帯工工法図(4)】より 800×800×380 N= 7.00 個			個	7.00	電線管敷設	G28mm L= 16.80 m + 16.80 m = 33.60 m			m	33.60
						埋設表示テープ	W=150 2倍 L= 33.60 m			m	33.60
						地中配線	EM-IE3.5s-3c L= 14.00 m × 2.00 線 = 28.00 m L= 28.00 m + 5.50 m + 3.00 m = 36.50 m			m	36.50
						屋外配線	EM-IE2.0s-c × 2本 L= 16.80 m × 2.00 線 × 2.00 箇所 = 67.20 m			m	67.20
						ハンドホール設置	N= 1.00 個			個	1.00
						材料費	駐輪場電気設備 N= 1.0 式			式	1.00

単位数計算書

市単独工事

細別	材料費	1.0式	細別	1.0式			
規格		当り	規格	当り			
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
電線管	FEP φ 30mm L= 14.00 m × 2.00 線 = 28.00 m L= 28.00 m + 5.50 m + 3.00 m = 36.50 m	m	36.50				
プルボックス	200mm × 200mm × 150mm N= 2.00	個	2.00				
電線管	G28mm L= 16.80 m + 16.80 m = 33.60 m	m	33.60				
電線	EM-IE3.5s-3c L= 14.00 m × 2.00 線 = 28.00 m L= 28.00 m + 5.50 m + 3.00 m = 36.50 m	m	36.50				
電線	EM-IE2.0s-c × 2本 L= 16.80 m × 2.00 線 × 2.00 箇所 = 67.20 m	m	67.20				
鋳鉄蓋	φ 600mm T-2 N= 1.00	組	1.00				
照明	LSS9-2-15 N= 6.00	台	6.00				

単 位 数 量 計 算 書

市単対象工事

細別	仮排水				1.0式	細別	仮排水				1.0式		
規格	Vuφ150mm				当り	規格	Vuφ150mm				当り		
名称	算式				単位	数量	名称	算式				単位	数量
既設管撤去	Vuφ150mm L= 2.00 m + 0.50 m + 3.00 m = 5.50 m				m	5.50	排水管処分	Vuφ150mm 3.94kg/m L= 5.50 m + 28.00 m + 1.00 m = 34.50 m W= 34.50 m × 3.94 kg/m = 135.93 kg W= 135.93 kg / 1000.00 = 0.14 t				t	0.14
仮排水管 布設	Vuφ150mm L= 4.00 m + 4.00 m + 20.00 m = 28.00 m				m	28.00	開削水替	N= 1.0 式				式	1.0
ます 設置	硬質塩化ビニル製 マルチ φ300mm-150mm N= 1.00 個				個	1.00							
塩ビます用 支管	300-150 N= 1.00 個				個	1.00							
硬質塩ビ継手	エルボ 90° N= 2.00 個				個	2.00							
接着受口カー	Vuφ150mm N= 1.00 個				個	1.00							
既設管撤去	Vuφ150mm L= 4.00 m + 4.00 m + 20.00 m = 28.00 m				m	28.00							

単 位 数 量 計 算 書

市単対象工事

細別	開削水替			1.0式	細別				
規格	作業時排水			当り	規格				
名称	算式			単位	数量	名称	算式		
ポンプ 据付・撤去	N=	1.0	現場	現場	1.0				
開削水替	N=	<input type="text"/>	日	日					

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	既設水路取壊し	1.0式	細別	既設水路取壊し	1.0式		
規格	ウォールソーイング、削孔	当り	規格	ウォールソーイング、削孔	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
既設 水路取壊し	ウォールソーイング、コアドリリング N= 1.0 式	式	1.0	削孔(1)	削孔(1)φ100mm 削孔深 削孔深 20cm以上40cm以下 N= 10.00 m / 0.75 m/孔 × 1.00 孔 = 13.33 孔 ≒ 14.00 孔	孔	14.00
ウォール ソーイング(1)	底版 ウォールソーイング切断深 ウォールソーイング切断深30cm以上35cm以下 ウォールソーイング切断縦断延長 【掘進工計算書】より L= 10.00 m ウォールソーイング切断横断延長 N= 10.00 m / 0.75 m/箇所 = 13.33 箇所 ≒ 14.00 箇所 L= ((2.85 m - 0.20 m - (0.15 m × 2 箇所)) × 14.00 箇所 = 32.90 m Σ L= 42.90 m	m	42.90	削孔(2)	削孔(2)φ150mm 削孔深 削孔深 20cm以上40cm以下 N= 10.00 m / 0.75 m/孔 × 1.00 孔 = 13.33 孔 ≒ 14.00 孔	孔	14.00
ウォール ソーイング(2)	側版 ウォールソーイング切断深 ウォールソーイング切断深15cm以上20cm以下 ウォールソーイング切断縦断延長 N= 10.00 m / 0.75 m/箇所 = 13.33 箇所 ≒ 14.00 箇所 L= 14.00 m × 1.25 m/箇所 = 17.50 m	m	17.50	削孔(3)	削孔(3)φ150mm 削孔深 削孔深 46cm以上50cm以下 N= 10.00 m / 0.75 m/孔 × 2.00 孔 = 26.67 孔 ≒ 27.00 孔	孔	27.00

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	既設水路取壊し	1.0式	細別	既設水路取壊し	1.0式		
規格	ウォールソーイング、削孔	当り	規格	ウォールソーイング、削孔	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
既設構造物 運搬	現場→作業ヤードまで 施工済み延長 第1工区 第2工区 L= 105.19 m + 214.01 m = 319.20 m 施工延長 L= (72.84 m / 2.00) = 36.42 m ————— Σ L= 355.62 m			コンクリート 運搬処理(1)	$\Sigma V = 8.99 \text{ m}^3$	m3	8.99
	V= 0.93 m ² × 10.00 m = 9.30 m ³	m3	9.30	鉄筋構造物 V=	9.30 m ³	m3	9.30
コンクリート構造物 取壊し(1)	鉄筋構造物 V= 0.93 m ² × 10.00 m = 9.30 m ³ 削孔(1) ▲ V= (0.10 × 0.10 × π) / 4.00 × 0.20 × 14.00 箇所 = 0.02 m ³ 削孔(2) ▲ V= (0.15 × 0.15 × π) / 4.00 × 0.30 × 14.00 箇所 = 0.07 m ³ 削孔(3) ▲ V= (0.15 × 0.15 × π) / 4.00 × 0.46 × 27.00 箇所 = 0.22 m ³						

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

作業ヤード整備				井戸養生					
細別	1.0式			細別	1.0式				
規格	当り			規格	914×1829×22、18-8-40(BB)				
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
土木シート	土木シート(ホリプロビレン系) A= 356.00 m2		m2	356.00	井戸養生 敷鉄板	【井戸養生敷鉄板単位数量計算書】より N= 1.0 式		式	1.0
井戸養生	【井戸養生単位数量計算書】より N= 1.0 式		式	1.0	均し コンクリート	18-8-40(BB) V= 0.10 m × 0.20 m × 1.829 m × 2.00 箇所 = 0.07 m3		m3	0.07
作業ヤード 砕石敷均し	RC-40 t=20cm V= 356.00 m2 × 0.20 m = 71.20 m3		m3	71.20	型枠	A= 0.10 m × 1.829 m × 4.00 箇所 = 0.73 m2		m2	0.73
作業ヤード 掘削	土砂 V= 356.00 m2 × 0.20 m = 71.20 m3		m3	71.20	コンクリート構造物 取壊し(2)	無筋構造物 V= 0.10 m × 0.20 m × 1.829 m × 2.00 箇所 = 0.07 m3		m3	0.07
作業ヤード 残土等処分	土砂 V= 356.00 m2 × 0.20 m = 71.20 m3		m3	71.20	コンクリート取壊し 運搬処理(2)	無筋構造物 V= 0.10 m × 0.20 m × 1.829 m × 2.00 箇所 = 0.07 m3		m3	0.07
作業ヤード 耕地復旧	ha= 356.00 m2 / 10,000 = 0.04 ha		ha	0.04					
土木シート 処分費	土木シート(ホリプロビレン系) V= 356.00 m2 × 0.11 kg/m2 = 39.16 kg t= 39.16 kg / 1,000 = 0.04 t		t	0.04					

単 位 数 量 計 算 書

市単独工事

細別	井戸養生敷鉄板	1.0式	細別		
規格	0.022×1.829×0.914	当り	規格		
名称	算式	単位	数量	名称	算式
敷鉄板設置	A= 1.829 m × 1.829 m = 3.35 m ²	m ²	3.35		
敷鉄板設置	A= 1.829 m × 1.829 m = 3.35 m ²	m ²	3.35		
井戸養生 敷鉄板賃料	N= 1.0 式 敷鉄板 0.022 × 1.829 × 0.914 枚 敷鉄板重量 0.289 t/枚 敷鉄板使用枚数 N= 3.35 / (0.914 × 1.829) = 2.00 枚 t= 0.289 × 2.00 = 0.58 t 使用日数 <input type="text"/> 日 使用枚数 2.00 枚 日当り賃貸料金 <input type="text"/> 円/枚・日 賃貸料金 使用日数 × 使用枚数 × 日当り賃貸料金 <input type="text"/> × 2.00 × <input type="text"/> = <input type="text"/> 15,285 整備費 使用枚数 × 整備費 2.00 × <input type="text"/> = <input type="text"/> 1,460 敷鉄板賃料 整備費 <input type="text"/> 15,285 + <input type="text"/> 1,460 = <input type="text"/> 16,745 円	式 枚 t/枚 枚 枚 枚 円/枚・日	1.0		

単位数計算書

市単独工事

細別	借地料			1.0式	細別	資産使用料			1.0式		
規格				当り	規格				当り		
名称	算式			単位	数量	名称	算式			単位	数量
借地料	N=		1.0 式	式	1.0	資産使用料	N=		1.0 式	式	1.0
	土地価格	円 ×	/			使用面積	土地価格				
	N=		借地単価			N= 604 m2 ×	円/m2・年				
			=	円		×					
			円/m2/月			使用日数	/	365			
	土地価格	借地面積				×	日	年	=	695,013	円
	N=	円 ×	314 m2								
	月数		借地単価								
	×		=	263,760	円						

特記仕様書（共通編）

No.1

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
共通	共通	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、図面及び別紙特記仕様書（施工条件明示一覧表）並びに特記事項は、三重県発行の「三重県公共工事共通仕様書」（令和2年8月）に優先する。 <input checked="" type="checkbox"/> 本工事は津市契約規則、津市建設工事執行規則、津市建設工事執行に関する要綱及び監督員の指示により執行する。 <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストにより、仕様書、契約書等に基づき、施工・手続き等が適切に行われているかを監督員と共有し確認すること。
	施工計画	<input checked="" type="checkbox"/> 品質及び出来形の基準値・規格値について、三重県公共工事共通仕様書で定めのない工種は、監督員との協議による。 <input checked="" type="checkbox"/> 作業主任者等の選任を必要とする作業においては、必要な資格者一覧を施工計画書に記載するとともに、その資格者証の写しを添付し提出するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中の安全確保については、労働安全に結びつく労働者が保有する資格者（クレーン運転士、玉掛作業員など）の一覧を施工計画書に記載するとともに、その資格者証の写しを添付し提出するものとする。
	施工体制台帳	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請金額にかかわらず原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを書面で監督員に提出すること。
	工事測量	<input checked="" type="checkbox"/> 施工前に、基準点、KBM、縦横断面及び工事区間内における境界の確認測量を行い、その結果、設計図書と差異が生じている場合には監督員に書面にて報告するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事測量については、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-38工事測量」に基づき行うものとし、工事区間内の境界等については、受注者の責任において原形復旧できる資料を作成、保存し、管理を行うこと。また、調査資料の写しを監督員へ1部提出するものとする。
	施工	<input checked="" type="checkbox"/> 契約書、設計書及び仕様書に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担で処理するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中（養生中を含む）の隣接家屋の乗り入れについては、所有者と十分に協議の上、必要に応じ、鉄板等にて対応するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 排水構造物の施工については、常時通水可能な状態を確保し、異常時には臨機の措置を講じるものとする。
	工程	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事は、休日、雨天のほか、社会的制約条件による要因を考慮してのものである。
	関係機関協議	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、施工前、ゴミ置場等施工上移設が生じる場合は、監督員と協議を行い、所有者、関係自治会等調整し移設場所を確定し、回覧等により周知徹底を行うものとする。他の物件で移設が生じる場合も、同様の扱いとする。 <input type="checkbox"/> 試掘調査を行う場合は、事前に各管理者と調整を行い、地下埋設物の確認については各管理者と監督員の立会のもと、実施するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工箇所付近に占有物件が予想される場合には、工事施工に先立って受注者の責任において三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に基づき、地下埋設（上空占有を含む）の詳細情報を関係機関から調査収集し、監督員に調査資料の写しを提出するとともに、各管理者と現地立会を行うなど、施工に際し十分に協議確認を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び上空占有物を誤って切断した場合は、受注者の責任において三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に基づき対応するものとし、緊急時の対策として、必ず監督員まで詳細を報告し、速やかに関係機関へ連絡を取るとともに周辺住民に対しても適切な処置を行うものとする。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	官公庁への手続き等	<input checked="" type="checkbox"/> 交通障害に伴う道路使用許可の手続き、消防への工事届け等を速やかに行うものとする。なお、道路使用許可申請にかかる手数料は、受注者の負担とする。

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事中において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
用地・補償関係	事業損失	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 設計書に明示した箇所の事前調査は、調査前に対象住民への周知を行い、調査後に工事着手するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 家屋調査については、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、調査に従事するもの（補助者を除く）として、建築士法（昭和25年法律第202号）第2条に規定する建築士に定める資格を有するものをあてるものとする。ただし、監督員がこれと同等の知識及び能力を有するものと認めたものについては、これをもって足りる。身分証明書交付については身分証明書交付願を契約締結後速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後家屋調査にかかるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者の責における金銭的補償等は、受注者の責任において適切に処理するものとする。三重県公共工事共通仕様書1-1-1-30 事故報告書「発注者への報告」に基づき、補償対象者より領収書、承諾書等を徴収し、監督員に報告するものとする。
	民地の保全	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は施工前に現地を確認し、官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鋸、プレート等）が発見された場合は、施工前に監督員に報告するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事により境界杭等が破損、亡失した場合は、受注者の責任において工事完了後復元を行うものとする。その際には、関係者と立会、承認を得るものとする。
安全対策	工事中の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、施工箇所が通学路であった場合は、監督員と協議を行った上で、対象の学校と十分協議をし、工程の調整を図るものとし、通学者の安全を確保するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺の交通状況を考慮して、資機材の搬出入等は適切な時間帯に行い、沿線住民等への周知を図るものとする。これにより難しい場合は、関係自治会等と協議を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事施工時は地山掘削・床掘等の際に既設構造物に損傷が出ないように、適切な措置を行うものとする。また、万が一損傷を与えた場合には、受注者の責において対処するものとする。また、施工時に影響が及ぶ可能性があると考えられる場合には、事前調査を行い、写真を撮っておくなど適切な処置を講じるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 図示してある掘削及び床掘については、計算用に用いた線であり、施工段階では各安全法令を遵守し施工状況、地下水等を考慮し現場にあわせた勾配等、対策を講じて施工するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工種（全工種）について、施工日の即日開放を原則とする。 <input type="checkbox"/> 工種（ ）について、事前に（ ）警察署）と立会を行い、確認後、施工を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 現場において設置する保安施設や仮設工は、設置完了時や使用中の点検及び管理についてチェックリスト等を活用して実施・整理し、監督員が求めた際には提示すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	交通安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 工事の施工に伴って、工事車両の出入口及び交差道路に対し、一般交通の安全誘導が必要となる箇所には、交通の誘導・整理を行う者（以下「交通誘導警備員」という）を配置し、公衆の交通の安全を確保するものとし、設計図書に基づき事前に監督員と協議を行うものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員は、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-33交通安全管理」に基づき配置するものとする。交通誘導警備員のうち1人有資格者（平成17年警備業法改正以降の交通誘導警備業務にかかると1級又は2級検定合格者）または、有資格者の配置ができない場合は監督員の承諾を得て交通の誘導・整理の実務経験3年以上の者を配置するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、交通誘導警備員を配置する際は、その警備会社と雇用期間中等労働条件並びに傷害保険等に関する契約書を締結し、その契約書（写し）を監督員に提出すること。また、交通誘導警備員の配置者一覧表（資格・実務経験年数を明示したもの）及び配置者名の明記された伝票を監督員へ提示するものとする（但し、監督員が提出を求めた場合は提出するものとする）。

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
環境対策	環境対策	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 土粒子を多量に含み、排水施設等に悪影響を及ぼすと考えられる放流については、沈砂または濾過施設を通して放流するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は産業廃棄物の処理を委託する際、運搬については産業廃棄物収集運搬業者等と、処分については産業廃棄物処分業者等と、それぞれ個別に直接契約し、その契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提示もしくは提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物処理及び清掃に関する法律に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）は産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分性状等）を処理業者に提供し、また受注者は、処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員が提示を求めた場合は提示するものとする。
資料作成	提出書類	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-27工事中の安全確保」に関する書類については、監督員が指示した場合、提示又は提出するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4） <input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。様式については津市ホームページに掲載のものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する資料を受注者の責任と費用負担において整備し、使用前に監督員に提出し、確認を受けるものとする。 なお、提出の際は使用材料一覧表に使用する材料を記載し、インデックス等で整理して材料の品質証明書を添付するものとする。 ※その他材料に関する資料についても原則、全て提出するものとするが、主たる材料以外で使用量が少量の場合は資料の提出について監督員と協議できるものとする。
	部分下請負通知書	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の一部分において下請負させる場合は、全て部分下請負通知書を当該下請負業者の施工開始日までに監督員に提出するものとする。部分下請負通知書には下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写し及び主任技術者等の資格者証の写し等を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。
支払いに関する事項	前金支払いに関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めるときは、契約金額の10分の4以内で、かつ当該支予算の範囲内で前払いするものとする。

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事中において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（共通編）

No.4

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）												
その他	名札	<p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、三重県公共工事共通仕様書「1-1-1-10 施工体制台帳」に基づき、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させるものとする。</p> <p><名札の例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>主任・監理技術者</p> <table style="margin: auto;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">写 真</td> <td>氏 名</td> <td>〇〇 〇〇</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事名</td> <td>〇〇〇〇工事</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工 期</td> <td>自〇〇年〇〇月〇〇日</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2cm×3cm 程度</td> <td>会 社</td> <td>〇〇建設株式会社 印</td> </tr> </table> </div> <p>注1) 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 注2) 所属会社の社印とする。</p>	写 真	氏 名	〇〇 〇〇		工事名	〇〇〇〇工事		工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日	2cm×3cm 程度	会 社	〇〇建設株式会社 印
写 真	氏 名	〇〇 〇〇												
	工事名	〇〇〇〇工事												
	工 期	自〇〇年〇〇月〇〇日												
2cm×3cm 程度	会 社	〇〇建設株式会社 印												
	部分使用	<p><input type="checkbox"/> 部分使用箇所（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 部分使用時期（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 部分使用目的（ ）</p>												
	部分引渡し	<p><input type="checkbox"/> 部分引渡し指定部分（ 別途説明書に記載 ）</p> <p><input type="checkbox"/> 部分引渡し時期（ ）</p>												
	巡回	<p><input checked="" type="checkbox"/> 当工事（修繕）は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等を行う現場パトロールを行うことがある。</p>												
	その他	<p><input checked="" type="checkbox"/> 当該施工関連箇所は、国立大学法人三重大学敷地内及び国立大学法人三重大学附属敷地内での施工となるため、施設管理者から大学並びに病院の行事等で制約条件がでた場合は、原則施工に反映するものとするが、この場合は変更対象外とする。但し、多大な変更が生じたと判断した場合はこの限りではない。</p> <p>・監督員とともに現場着手前には施設管理者との協議に必要な施工図、工程表を作成し、協議を行うものとする。また変更等が生じた場合は施設管理者と再度協議を行うものとする。</p> <p>・国立大学法人三重大学敷地及び国立大学法人三重大学附属敷地での着工前に入構証及び駐車証等の必要な交付申請を行うこと。</p> <p>・当該施工箇所は国立大学法人三重大学及び国立大学法人三重大学附属に近接しており、振動、騒音、防塵に留意し施工を行うこと。また、関係者等の往来が多いため、安全対策及び通行等の阻害にならないように努めること。</p> <p>・緊急車両等の通行に阻害がないように努めること。</p>												

(注)上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（下水道工事共通編）

No.1

大区分	中区分	小区分（条件及び内容）
補償関係	事業損失	<input checked="" type="checkbox"/> 家屋調査については、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、調査に従事するもの（補助者を除く）として、建築士法（昭和25年法律第202号）第2条に規定する建築士に定める資格を有するものをあてるものとする。ただし、監督員がこれと同等の知識及び能力を有するものと認めたものについては、これをもって足りる。身分証明書交付については身分証明書交付願を契約締結後速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後家屋調査にかかるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> ウェルポイント工の施工前に設計図書に明示された事前調査を行うこと。また、現場周辺に使用中の井戸がないか調査を行い、井戸漏れ等、水位の変化に細心の注意を払うものとする。
工事施工関係	施工管理	<input checked="" type="checkbox"/> 開削埋戻しの現場の品質管理については、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書品質管理基準及び規格値の道路土工）によるものとする。試験は、延長10.0m毎に管理することとし、試験位置については埋戻し深の1/2程度の位置とし、試験頻度は1回（3試料）以上とする。また、試料採取位置については、測定位置付近で縦断方向に3試料を測定することとする。費用は受注者の負担とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 立坑埋戻しの現場の品質管理については、埋戻し深が5m未満の立坑の試験位置は、埋戻し深の1/2程度の位置及び埋戻し天端の2箇所とする。試験頻度は1回（3試料）以上とする。埋戻し深が5m以上の立坑の試験位置は、概ね均等な間隔となるよう設定する。試験頻度は3mにつき1回（3試料）以上とする。費用は受注者の負担とする。
	工事材料	<input checked="" type="checkbox"/> 砂基礎材の規格については、最大粒径20mm以下、且つ0.075mmふるい通過質量百分率0～20%以下とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 埋戻し材料については、設計図書で明示する試験を行い、その結果を監督員に提出した上で、現地発生土が埋戻し材料に適していると判断された場合は、流用土に変更するものとする。
	公共樹	<input type="checkbox"/> 受注者は、公共樹を設置する工事がある場合は、申請者、又は使用者の承諾を得て工事に着手するものとし、施工条件、深さ等を考慮し適切に施工すること。 <input type="checkbox"/> 本工事において設置する各宅地等の公共樹について、原則として公共樹設置位置申請書等に基づき設置するものとする。なお、施工前に必ず申請者に設置位置等を再度確認し、施工するものとする。 <input type="checkbox"/> 設置位置等について設置箇所の申請者より変更希望があった場合は、監督員に報告し指示を受けるものとする。 <input type="checkbox"/> やむを得ず管止めとなる場合は、施工前に監督員と協議し、申請者に説明したのちに施工すること。また、現地に管止めの位置がわかるようにピン等で表示をするとともに、指定の資料及び写真（管止め調書）を監督員に提出するものとする。 <input type="checkbox"/> 公共樹設置位置申請書等については、取扱いに十分注意し、みだりに他人に知らせたり、不当な目的に使用してはならない。また、工事終了後速やかに津市に返却または引き渡すものとする。
	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の工期については、本工事に伴う占用物件の移設工事を含めた期間であるため、着手前に関係機関と十分協議を行い、工事進捗の円滑化を図るものとする。
資料作成	提出書類	<input type="checkbox"/> 管渠敷設後は、テレビカメラにて管内を確認し成果品をDVD-Rにて提出すること。なお、漏水等を発見した場合は、速やかに監督員に報告し、適切に処置するものとする。
その他	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 現場条件により土留工が必要な場合は監督員と協議を行うこと。

（注）上記条件及び内容のレ印当該欄は、工事において制約を受ける事となるので明示する。
 変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.1

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
工 程 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり (別途工事名： (仮称) 公共下水道工事)	<input checked="" type="checkbox"/> 調整項目 (<input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整 <input type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議)
	<input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> 制限する工種名 () 施工時期及び施工時間 () 施工方法 ()
	<input type="checkbox"/> 工期	<input type="checkbox"/> 工期は、繰越手続きが完了後、(年 日) までに変更します。
	<input type="checkbox"/> 他機関との協議が未完了	<input type="checkbox"/> 協議が必要な機関名 () 協議完了見込み時期 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 占用物件との工程調整の必要あり <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 占用物件名 (<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> その他 ()
用 地 関 係	<input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり	<input type="checkbox"/> 未処理箇所 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ~No. <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 完了見込み時期 (<input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議)
	<input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤード (<input type="checkbox"/> 官有地 <input checked="" type="checkbox"/> 民有地 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (国立大学法人三重大学) <input type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間 (協議による) <input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離 (L = km) <input checked="" type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法 (協議による) <input type="checkbox"/> その他 ()
	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()
公 害 対 策 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> 制限項目 (<input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地下水位等の測定)) <input checked="" type="checkbox"/> 施工方法等 (<input type="checkbox"/> 指定工法名 () <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 (監督員との協議)) <input type="checkbox"/> 施工時期 ()
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり	<input checked="" type="checkbox"/> 調査項目 (<input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input checked="" type="checkbox"/> 近接家屋の事前・事後調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定 <input type="checkbox"/> 地下水位等の測定 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 調査方法 (<input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 別途協議)
	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()
安 全 対 策 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置 (<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議) <input type="checkbox"/> 指定路線 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置人員数 <input checked="" type="checkbox"/> 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 人 B： 226 人 (注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。) ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> 積上げによる算出 配置人員数 (人) (うち交通誘導警備員A (人)) (注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置時間 (別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置期間 (別途協議) <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員配置の対象工種 (別途協議)

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.2

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限 <input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり <input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保（自主施工の原則） <input checked="" type="checkbox"/> 事故速報の提出 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり ・近接公共施設（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ）） ・近接施設（ <input type="checkbox"/> 擁壁（ ） <input type="checkbox"/> ブロック塀 <input checked="" type="checkbox"/> 家屋 <input checked="" type="checkbox"/> その他（国立大学法人三重大学 ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 <input type="checkbox"/> 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ） <input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 保安要員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
工事用道路関係	<input checked="" type="checkbox"/> 一般道路（搬入路）の使用制限あり <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input checked="" type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 用地及び構造（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 安全施設（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> その他（ ）
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり <input type="checkbox"/> 水替工（縮切排水工） <input type="checkbox"/> 仮設物の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 転用あり（ 回） <input type="checkbox"/> 兼用あり（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし <input type="checkbox"/> 施工条件の指定あり ① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 施工方法（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.3

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
建設発生土・産業廃棄物関係	<input type="checkbox"/> 建設発生土受入地の指定あり	<input type="checkbox"/> 受入地の条件（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離（L＝ km） <input type="checkbox"/> 受入料金あり <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定	<input checked="" type="checkbox"/> 受入地未定につき別途協議する。（ <input checked="" type="checkbox"/> 暫定運搬距離L＝ 8 km、 <input type="checkbox"/> その他（ ））
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> コン塊 <input checked="" type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 廃プラ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別添図書 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。
<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
工事支障物件関係	<input checked="" type="checkbox"/> 工事支障物件あり	<input checked="" type="checkbox"/> 支障物件名（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 移設時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 防護（ ））
	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他（ ）
薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり	<input type="checkbox"/> 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） <input type="checkbox"/> 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 提出書類あり	<input type="checkbox"/> 工法関係（ ） 材料関係（ ）
	<input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	<input type="checkbox"/> その他（ ）
再生材使用関係	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生Asコン <input type="checkbox"/> 再生路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシュラーン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂 ） <input checked="" type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ）
	<input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	<input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく 認定製品の使用について	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名： <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input type="checkbox"/> 上層路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート二次製品 <input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.4

明示項目	明示事項	条件及び内容
その他	<input type="checkbox"/> 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり <input type="checkbox"/> 現場発生産あり <input type="checkbox"/> 支給品あり <input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり <input type="checkbox"/> 現場環境改善費適用工事 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ） <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） 時期（令和 年 月 日） その他（ ） <input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） 数量（ ） 運搬距離（L = km） <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（率分）（ ） <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（積上）（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
適用条件	<input checked="" type="checkbox"/> 適用条件	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和4年7月1日）） <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書 1-1-1-2 第22項中「電子メールなどの署名または押印が不要な手段により」とあるのは「電子メールなどにより」と、第26項「書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、署名または押印したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われた工事帳票については、署名または押印がなくても有効とする。」とあるのは「書面とは、工事打合せ簿等の工事帳票をいい、情報共有システムを用いて作成され、指示、承諾、協議、提出、報告、通知が行われたものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いない場合は、発行年月日を記載し、記名（署名または押印を含む）したものも有効とする。」と読み替えるものとする。 <input type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用 <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン(平成31年3月)（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 支援技術者 1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示ー（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているため、その支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制台帳、計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。 2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。 3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。 4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者： <input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については監督員の指示によるものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合せ簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書に準拠すること <input checked="" type="checkbox"/> ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること <input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.5

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
監督の区分 共通仕様書 第3編3-1-1-4 第6項、第10項 に規定する 表3-1-1(1)、 表3-1-1(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般監督 (ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となっ た場合は、全ての工種を重点監督とする。)	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 <input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。 <input type="checkbox"/> 対象工種 () ※これ以外は、一般監督とする。
	<input type="checkbox"/> 重点監督	
電子納品	<input type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む） <input checked="" type="checkbox"/> 電子納品対象外	<input type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、(<input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> ()部)とする。 <input type="checkbox"/> 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和 4年 7月改訂）を適用
地質調査の 電子成果品等	<input type="checkbox"/> 地盤情報データベースの登録の必要あり	<input type="checkbox"/> 検定及び登録機関（一般財団法人国土地盤情報センター（https://ngic.or.jp/）） <input type="checkbox"/> 検定料金の計上（ <input type="checkbox"/> A検定 <input type="checkbox"/> B検定 ） (注：受注後、これにより難しい場合は設計変更の対象とする。)
産業廃棄物税	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物税	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日 までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を 超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> コリンズ（CORINS）の作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設 発生土情報交換シ ステム	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物情報交換システム <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	<input type="checkbox"/> 下請企業の次数制限	<input type="checkbox"/> 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
特例監理技術者の 設置	<input type="checkbox"/> 特例監理技術者の設置	<input type="checkbox"/> 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。
配慮依頼事項	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等に おいて市内本店事業者を活用することに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製 品の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮するこ と。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れ	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 使用人等において市民の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
津市公契約条例	<input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場に おける合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務 所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査 その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.6

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市公契約条例		<p>2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。</p> <p>(1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。</p> <p>(2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。</p> <p>(3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。</p> <p>(4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。</p> <p>(5) 特定公契約にあつては、別紙誓約事項に違反したとき。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 労働環境の確保に係る誓約事項</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。</p> <p>1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。</p> <p>2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。</p> <p>3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。</p> <p>4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。</p> <p>5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。</p> <p>6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。</p> <p>7 市長等が行う施策に協力すること。</p>
社会保険等未加入対策	<p><input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。</p>
法定福利費の負担	<p><input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費を明記した標準見積書の活用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。 （津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）</p>
暴力団等の不当介入の排除等	<p><input checked="" type="checkbox"/> 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。</p> <p>1 受注者の義務</p> <p>(1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。</p> <p>(2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。</p> <p>(3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。</p> <p>(4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。</p> <p>(6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。</p> <p>2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置</p> <p>(1) 入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>(2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>3 契約等の解除</p> <p>(1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.7

明示項目	明示事項	条件及び内容
新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等	<input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置等については、以下により徹底を図るものとする。 1 工事の円滑な施工確保を図る観点から、本工事の現場等のみならず関係する会社・事務所等も含め、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い・うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。 2 新型コロナウイルス感染症については、特に、①密閉空間、②密集場所、③密接場面という3つの条件（以下「三つの密」という。）が同時に重なる場では、感染を拡大するリスクが高いことから、建設現場等における朝礼・点呼や現場事務所等における各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所等での食事・休憩など、元請事業者をはじめ、下請事業者等の多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業従事者と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。 3 感染拡大防止対策を実施するために追加で費用を要する場合は、設計変更の対象とするため、監督員と協議を行うこと。ただし、感染防止対策について施工計画書に記載した上で履行することを前提とする。 4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「工事の一時中止や工期の延長」が必要な場合には、監督員と協議を行うこと。 5 作業従事者等が新型コロナウイルス感染症の感染者及び濃厚接触者（以下「感染者等」という。）であることが判明した場合は、速やかに監督員に報告すること。また、保健所等の指導に従い、感染者等の自宅待機などの適切な措置を講ずること。なお、感染者等であることが判明した場合は、本工事のみならず、受注者が本市と契約中の全ての工事について、一時中止の措置を行う場合がある。 6 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、受注者又は発注者は、施工条件、施工方法等に変更の必要があると認めるときは、津市工事請負契約約款第19条（設計図書の変更）の規定に基づき、発注者及び受注者が協議して、これを定めるものとします。この場合において必要があると認められるときは、工期若しくは請負代金額の変更の対象とするものとする。
ワンデーレスポンス	<input checked="" type="checkbox"/> ワンデーレスポンスの実施	<input checked="" type="checkbox"/> 1 この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。 なお、質問・協議等に当たっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。 2 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。 3 受注者は三重県公共工事共通仕様書「1-1-3 設計図書の照査等」に基づき、適切に設計図書の照査を実施すること。 4 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。 5 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
建設業退職金共済制度に係る事務手続き	<input checked="" type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて	<input checked="" type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。 1 建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。 2 契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。 3 共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいですが、これにより難い場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。 4 共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。 5 工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに「掛金充当実績総括表」を作成し、工事担当課へ提示してください。この時、掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認してください。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。 6 建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下、CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。
津市工事請負の地元調整	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。 1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生しました。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。 2 発注者及び受注者の責務 (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。 3 定義 (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。 (2) 「不当要求行為等」とは、 ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ 暴力行為、脅迫行為 ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.9

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
		<p>(3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。</p> <p>4 工事説明の進め方</p> <p>(1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。</p> <p>(2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関する内容を、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。</p> <p>(3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。</p> <p>(4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。</p> <p>(5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。</p> <p>(6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。</p> <p>5 不当要求行為等</p> <p>(1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。</p> <p>(2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。</p> <p>(3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。</p>
その他	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

労働環境の確保に係る誓約事項

津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。

また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。

記

- 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。
- 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。
- 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。
- 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。
- 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。
- 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。
- 7 市長等が行う施策に協力すること。
- 8 労働報酬下限額の運用について
 - (1) 受注者は、運用対象契約（以下「対象契約」という。）の受注関係者（下請業者等）及び労働者（以下「対象労働者」という。）に、当該運用について周知を徹底するとともに、労働状況台帳を津市へ提出することについて、同意を得ること。
 - (2) 対象契約について、受注関係者から労働環境の確保に係る誓約書を提出させること。
 - (3) 対象労働者には労働報酬下限額以上の賃金を支払うこと。
 - (4) 津市が指定する期日までに対象契約に係る労働状況台帳を提出すること。
 - (5) 受注者は、受注関係者の労働環境の確保に係る誓約書、労働状況台帳及び個人事業主名簿を取りまとめ、津市が指定する期日までに提出すること。
 - (6) (1)から(5)に掲げるもののほか、その他労働報酬下限額の運用に関して行う事務は、津市公契約条例労働報酬下限額運用マニュアルに基づき、適切に履行すること。
 - (7) 労働報酬下限額の運用に関する津市からの案内、通知及び指導には、誠実に対応すること。

令和5年度津市労働報酬下限額

労働報酬下限額	977円
---------	------

ただし、契約期間中に三重県の最低賃金額が労働報酬下限額を超えた場合は、三重県の最低賃金を労働報酬下限額とする。